

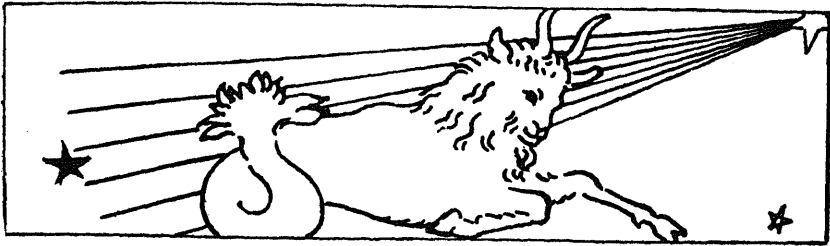
幼見之教育



號九·八第 號月九·八 卷三十四第

內校學範師等高子女京東

會協國稚幼本日



號九・八第 育教の兒幼 卷三十四第

目——(次)——

明治天皇御製謹誦……………倉橋惣三(一)

戦時下保育の本義と實際……………倉橋惣三(二)

——講習會講演筆記——

戦時下保育の實施事項

武藏野母子寮を觀る……………清水光子(二)

參觀記

猿江善隣館を問ふ……………志村貞子(二七)

師範學校の保育實習……………清水桔梗(三)

女學生の勤勞奉公險所見……………末田ます(三)

幼兒の鍊成……………大崎サチエ(三)

幅ミビ遊び……………福田靜子(四)

今夏の本會主催講習會……………(四)

幼兒の母……………(四)

この大きな時代の日本の母——幼稚園から——がまんづよい子(倉橋惣三)——初秋に於ける

幼兒の保健衛生(宇留野勝正——母親の健康(坂内ミツ))

保 育 奉 公

大 東 亞 戰 爭 必 勝 完 遂

明治天皇御製

思ふ事おもふがまゝに言ひいつるをさな心やまことなるらん

言葉ミ心、口ミ腹ミが、またしても一つでないことは、おミなの醜惡でもあり悲哀でもある。それがいつも一つでさへあつたら、世の中がミの位置純になり、あつさりするであらう。しかも、なか／＼さうならぬのが人の心でもあり、さうさせぬのが世の中でもある。いつまでも子ミものやうであり得たらミいふ、あの自らを嘆く聲に、おミなの悲哀が籠つてゐる。

おもふがまゝに言ひいでないのは醜い。おもふがまゝに言ひいでられないのは悲しい。それがおミなのであり、そのさちらもないのがをさなごである。まごミは、貴いミ共に幸である。をさなごは、屢々おミなの理想であり師である。少くも、まごミの持主ミしての貴さミ幸ミに於て。

そのをさなごミ常に共にゐるわれらである。與ふるに材がないでもない。教ふるに道がないでもない。指導に方法がないでもなく、誘導に工夫がないでもない。ただ、彼等のまごミに觸るゝに、果して常にまごミなるか。心の伴はぬ言葉、心の通りでない言葉、敢ていつわるミではないが、ほんたうにまごミでないミことはないか。便宜の言葉、手段の言葉の多くして、まごミの言葉の、なんミ少いミごか。

御製は、をさなごのまごミを、たゞそのまゝにすら／＼ミ詠じさせ給ふてある。御製ミ同じ詠嘆を以てをさなごを見るミは、われらをさなごミ共にあるものに恵まれる機會でないミごもない。たゞ、御製を拜しては、はつミ自らを省みさせられる。をさなごに就てミなく、をさなごに於て強くわれを省みさせられるのである。

(倉橋惣三謹識)

戦時保育の本義と實際

—昭和十八年八月戦時保育講習會講義筆記—

倉 橋 惣 三

目 次

- 一 戦時保育の意義
- 二 戦時保育の重要性
- 三 戦時保育の問題
 - (一) 保育の目的方面に就て
 - (二) 保育の方法方面に就て
 - (三) 保育の内容方面に就て
- 四 戦争それ自身の取入れ
- 五 戦時下生活の取入れ

第一日—八月一日

一、戦時保育の意義

お互ひ今日は戦時生活の中に居ります。戦時生活はさういふ事でありませうか。唯戦争が行はれてゐる中で暮してゐるさういふ事ではない。又戦争が他處で行はれてゐる間

に生活してゐるさういふのでもありません。戦時生活さういふ意義は、互の生活の全部が戦争目的に合致してゐるさういふ事でありませう。戦争目的は全く同一の目的でお互も生活してゐるさういふ事が戦時生活の意義なのであります。生活は種々の意味を持つし、又個人々々の生活もあるわけであります。其の爲戦争の中にある事を承知しながら個人の間にある生活がその間に頭を擡げ來つたりします。従つて戦時生活はお互の生活目的がそれらしく戦争目的に合致してゐるかさうか、絶えず反省してゆく事であるさういへるのであります。

お互の従事する教育は、お互の貴重なる生活であります。従つて戦時生活の一として戦時教育もまた只今考へたと同様にその目的が悉く戦争目的に合致せねばなりません。又教育は種々の理由によつて行はれるのですが、今日我々のやつてゐるそれが戦争目的に合致してゐるや否やを絶えず反省しつゝやつてゆく、戦時教育の意義は實にこゝ

にあるのであります。これから述べるのはそれであり、
す。たゞし戦時生活といひ、戦時教育といひ、今日始まつたものではない。大東亞戦争以來既に歳を重ね、支那事變より見ればなほ以前から體驗して來たことであります。皆様が既に實踐し反省して居られる事であります。今日はじめて戦時教育の意味、方向が判つたといふことはあるべき事ではありませんし、またさういふことでは教育者として恥辱でもありません。完全なる心掛けで従來もやり來り、現在もやつてゐるのであります。併し教育は實に實際でありその中に戦時保育の完全な姿を行つてゐるにしても——それは疑ないところではありますが——その中になほ反省せられるべき事を考へるのも必要な事であります。この血みどろの決戦下において四日間、靜かに與へられた時間は皆様が暫く子供を離れて、すべき事、してゐる事について考へる時間であり、子供と共にゐる忙しい生活から、自分達の生活として戦時保育を考へる時間であります。その意味でこゝに更めて考へる事にしたいのであります。

戦時生活が日本の只今の生活であり、戦時教育が日本の只今の教育である事は教育の全面に事實ではつきり出てゐます。これについて先づ明瞭な認識を與へるのは、學徒が教室からそのまゝ海に空に征く事であります。軍務に關係ある青年が應召する事はもこより、本來ならば卒業期まで

十分に學校教育を受け、學校生活を送つてゐるべき學徒が學業を途中で放擲して志願して海に空に征くのである。これはその人々の愛國精神の高邁に感激する事はもこよりであるが、その人が學校生活、教育生活を受けてゐる身として實に非常な事なのであります。國家は平生から裕りをこつて學問させてゐないのである。故に平時に於ては學業を途中で放擲するといふ事は、それが個人的理由なら不都合な事であり、他の理由ならば最も遺憾とするのであります。それを今日は國家、個人が一になつて放擲するのであつて、之は實に容易ならざる事であります。學徒は研究を、指導者は指導を途中で棄てる。學校などはあつてもいふ勢なのでありますから、常通りの學徒生活を中心にして考へれば残念であり、困る事ともいへるであります。今日、男子はさしく徴用せられ、女子もまた動員せられてそれ／＼働いてゐます。恐らく學校教育の成績は何十倍の努力をしなければ普斷の通りにゆかないでせう。かく戦時教育は實に思ひ切つたことが行はれてゐるのであります。青年學校、中等學校の生徒には、ぐん／＼その教育を戦時目的に合はすべく、方法、内容共に改良されてゐるのであります。彼等は靜かな教室内に於いて授業を受ける代りに如何に行軍し、如何に教練してゐる事でありませう。これ皆、戦争目的に向つて中等教育の目的をふりむけてゐる

るのであり、國民學校もまた國民基礎教育をこの目的に向けてゐるのであります。先生の態度も、教育内容も、それを受ける生徒の眉宇にも、行動にも、戦争目的に向つて張切つてゐる勢が現れてゐます。彼等は卒業するにすぐに志願して若鷲となる。教壇から先生はそれを説き奨め、その爲に必要として身體鍛錬も勉強もさせるのであります。今日、日本の教育すべてが従來の教育目的を戦争目的に合致させてゐる事はこの通りであります。

斯く考へて來た時、お互の生活、お互の保育は如何なる位置にあり、姿にあるかといふ事が問題であります。これは理窟の形でなく皆さんに直接すぐお話しかけたい。皆さんは幼児教育者として教育の一分野を持つのであります。國民を教育する、國民者といふ事においては、大學教授、專門學校、中等學校、國民學校の先生方、何等變りはない。これは皆様はつきり御自覺の事でありませぬ。相手は青年に幼児で大變に違ふが、國民教育者としての違ひを生ぜしめるものではありません。即ち大學教授がもつて勉強させたい秀才を、今すぐ軍艦にゆけといふその氣持は皆さんにもあるわけでありませぬ。皆さんが大學教授の側にまはればその意氣は常にある。自分の教育對象としての相手をすぐ戦争におし出してゆかうといふ氣持は同じであります。この心持が相手が幼児である故にさうなるかが問題でありませぬ。

す。それを忖度してかういへると思ひます。ぢつとしてゐられない、じり／＼して來る。出來れば子供達を戦争にすぐ合致させたいといふ思ひは抑へられないのであります。

一體教育は平時の考へからすれば、教育そのもの、本質といふわけから理想性、將來性を多分に持つものであります。政治、實業その他の生活に比べて教育は理想性、將來性を特色とするといへませぬ。しかし戦争は私共をしてたゞ將來に生きさせませぬ。戦争は理想を目的として始められたものであります。戦は目前にあり、敵は今なのであります。してみれば戦争の現實性、現在性は戰時生活の特色といへませぬ。即ち、教育も戰時教育である限り、現實的、現在のなるものになつて來ねばならざるを得ないのであります。今日この實情に即してといふ現實性、すぐ役に立つ現在性を多分に持つのであります。大學の教育はその教育將來性を捨て、現實性、現在性についてゐる。幼児教育はさうまでそれに／＼問題なのであります。更に皆さんの現實的、現在の意氣を以て幼児の前に立つた時、それをさだけ幼児にもつてゆけるか、又問題であります。青年に對しては自分のもつ現實性、現在性そのまゝをぶつけてゆけばよいでありませぬが、幼児教育に於ては現實性、現在性をそのまゝもつてゆけない。こゝに皆さんが幼児保育者として悶々耐へがたき心持を持たれるのを疑はない。大

學教育は青年を自分ミ一しよに現實性、現在性に突入させるのであるが、幼児にはそれが出来ません。幼児教育では自分がどんなに現實的、現在の教育者になつてゐても、傍から見る時は極めて現實性、現在性の鈍いやうに見える事をしてゐる事になります。人にさう見えやうミそれは構はないのでありますが、自分自身これが戰時保育かミ思ふ心持が絶えず起るこミと思ひます。

平時においてはそれによかつたのでありますし、又幼児保育者そのものがそんなに現實的現在のな心構へを持たなかつたかも知れません。が、今日はさうではないのにさうなつてゐる事は容易ならざる事であります。戰時保育はこれによいかミいふこミをしつかりミよく考へたいと思ふのであります。中にはあまり自分自身幼児である爲にこの問題はおこらないミいふ方があるかもしれない、自身幼児であり、現實性、現在性を感じないのであるなら幼児ミびつたり合ひお樂なこミであります(笑)。併しその出来ぬお互は此方の現實性、現在性が幼児ミ違ひ、しかも幼児ミ暮さなければならぬのであります。戰時保育はする事が難しいミいふより、今申した事が問題なのであります。幼児を戰爭目的に向けて行く事は決つてをり又あまり向けられぬ事も決つてゐるのである、そして保育者自身は向いてゐる。こミに生ずる矛盾が問題なのであります。その困難を皆に

吹聴して歩く必要はありませんが、戰時保育は戰時教育の特色を具へながら思ひ切り戰時教育になり難い。こミに特色があるのであります。これをよく判らぬ人は幼稚園を頗る非戰時的ミみる人がある。幼稚園を廢止すべし位に思ふ人もあるかもしれません。幼稚園のもつあの形を幼児に即する故に表はれる和やかさが、さうした感じを與へる事は

もこよりであります。之に對し我々は一々説明をする必要はないが、もし我々にそれに對する充分の答の出来る用意がなければ戰時保育をやつてゐるこは言へません。こころで、その答は幼稚園をすぐ教練の場所ミし幼児を若鷲にする所ではない。こミまでも幼児は幼児、保育は保育である。然もその中に自ら省みて十分答へ得る用意がなければならぬのであります。皆さんの中には血氣旺盛な若い方が多いから、幼児ミ遊ぶ間に彈を造りたいミ思はれるかも知れない。皆さんミ同年の若い人が一時間働けばそれだけ戦にすぐ役に立つ生産をどんなにしてゐる事でありませうか。保育をやめてそちらへ轉業する人が續々現はれさうに思ひます(笑)。それを敢へてなさらないのには譯があるミ思ふ。私が最も残念に思ふ言葉が昨年來ちら／＼あるのであります。女子が徵用を避ける爲に保育事業に從來するこいふ事でありませぬ。戰爭に直接に必要である仕事に女子が動員される。それを厭つて保育に來る。そこにどんな意味が

あるか大いに考へさせられるのであります。もしその人が
 ぎんな御用より保育が自分に一番よく出来る御奉公だと思
 ふのなら遺憾はない。たゞその工場、その鑛山より幼稚園
 が現實的、現代的に吞氣、氣樂であるからそこにしばし憩
 ひの道を求めるまいふのであれば、幼稚園において本氣に
 勤めてゐる人は、かゝる人が仲間に来るまいふ事は堪へが
 たい事でありませう。皆さんはさうではない。もつミ現實
 的、現代的に生活なさりたいのだが、心あつて戦時保育に
 身を挺し、踏み止つてゐるのであります。戦時保育はみか
 けは極めて非現實的、非現代的であります。これが如何
 に戦時に即して必要であるか。そこがしつかり明確にされ
 てゐなければ戦時生活の現實性、現存性の前にしつかり立
 つ事がむづかしいのであります。そこで戦下何故にあのこ
 こやかな保育が必要か更めて考へてみる必要があるのでは
 あります。

二、戦時保育の重要性

戦争は國民を減少させてゐる事でありませう。只今この間
 にもそれが行はれてゐるのであります。従つて絶えずこれ
 を補はなければなりません。この補給については量的に考
 へられる事でありませう。所謂多子が生れねばならない。今

日一人の子供をいへぎも國民の補充として考へねばならな
 いのであつて、人の量は戦争の勝負に最も根本的條件なの
 であります。しかし人口問題を量的に考へた時、自ら限度
 があります。故に一人をして何人分をも受持たせる事より
 他にないのであります。敵米英も人口問題を重要に考へ、
 一人一人がまた躍起になつて向つてゐます。これに對する
 對策としては一人が何人前であればよいのか、それこそ問
 題になります。一人が十人力、百人力を出すまいふのは昔
 はお話でしたが今日はさうでなければもてやれないので
 あります。その一人を何人前かにする事が保育の受持なの
 である。一人を何人かに働かせ得るやうにせねばなりませ
 ん。單にその子がより健康、より優秀にまいふ理想でなく
 現實問題であります。國民學校に於ける國民の基礎的鍊成
 が激しくなつてゐる今日、その下地もまたさうでなければ
 ならないのであります。人口問題を量と質、殊に質から考
 へて保育は實に必要である。しかも質より他ないのであ
 りませう。

しかもその質的充實をはかる上に於て最も重要な幼児の
 家庭生活は平時の如く存分とはいへないのであります。そ
 の家庭生活は乏しさに耐へる生活であり、母は多忙であ
 りませう。その多忙は日本女性の元氣から出てゐるものでありませ
 せう。それは日本の母の魂から絞り出したものでありませ

うが、普断なら子供の爲に使ふ力をそちらへ出してゐるこゝにいへるのであります。かゝる時、その子供の本當の在家アトカであり責任者たる家庭、母がかういふ状態ならば、社會施設としての保育がされただけ急務でありませうか。

殊に多忙だけでなく、我々の目前に父を亡つた子供が日に日に出來てゐるのであります。この現象に對し、誰がその子供達を責任をもつて世話をするか、これこそ極く大切な保育の任務です。

即ち、人口問題といふ大きな立場からその一條件たる母の多忙、又戦争が父を亡ならせてゐるその子の問題として戦争がある故に保育が今日尙更必要になつたこゝにいへるのであります。今迄保育といふ施設がなかつたとしても、この立場から新に戦時事業として起るべき性質のものであるといへます。今日新に起つた保育所に皆さんは新に徵用されてゐるを考へてよいのであります。戦の現實性、現在性はこゝまでぎり／＼の言ひ現はし方におきかへていゝのであります。皆さんは今日はじめて國家の必要にめざめて保育所に來たを考へてよいのであります。このこゝはこの戦下において幼稚園、保育所に來る子供の數が増加した事が證明してをります。これは事實において皆さんを必要とする新たな現實こゝいへるのであります、今迄は保育の必要を我が説いて、さうかこゝいふので子供を預けるこゝいふのだつ

たかもしれませんが、今日の實情は反對なのであります。戦時保育所がこの意味で行はれてゐるのです。そこにはこゝによる皆さんの如き熟練せる保育者を迎へられず、熟意あつて技術の足らざる者のお手傳によつてやつてゐるこゝころもあるかと思ひますが、今日保母志願者の數は激増して居ります。かゝるこゝころから見ても、幼稚園の姿は必ずしも戦の姿を持ちませんでも、國の中にある在り方は戦共にもす／＼必要になり、發展し來つてゐるのであります。こゝによる戦時保育所を造る人、幼稚園へ子供を入れる人はたゞ必要の爲に、石炭を掘る如く、鐵を鑄る如く幼児保育の必要が感じられてゐるのであります。かゝる動きの中にお互の仕事が行はれてゐるのであります。お互はかねて幼児保育をして來たものであります。こゝに居られる皆さんの中には幼児保育の先覺者、熟練者が多く居るのであります。しかしもう一度戦時保育に立ち返るこゝに於てのみ今日の保育者であるこゝにいへるのであります。かゝる點から戦時保育の種々の問題を考へるこゝが出來るのであります。以上述べてきましたこゝを戦時保育の本義と致します。

三、戦時保育の問題

そこで、かういふ意義をもつ戦時保育は前述の如く、常に夫々やつてゐる事を又厳しく反省しなければならぬのであります。妙な言葉でありますが、厳省といふ言葉を遣ひます。うかく保育が出来ない、しきたりのまゝでは出来ないものであります。始終本義に基いて厳省しなければなりません。それには、實際には夫々具體的に分けてする必要がありま。

(一) 保育目的の厳省

先づ保育の目的方面について省みる事でありま。たゞし何も今更保育の目的を厳省する必要はないといへませう。苟も目的を考へずしてやる事はない、況や教育においてありべき事ではありません。しかし敢へて目的方面に關して厳省を必要とする所以は、保育のもつ一の性質がこの必要を促すからであります。多くの事は、目的が主で、やる事はさう愉快でない事が多いのであります。今では鑛山に女子も入り、夜業も必要ならば許されてゐるのであります。石炭を掘る事が好きだといふ人はそんなになからう——假にさういはずして——炭坑の中、又は熱い溶鑛爐の側が好きだといふ人はないと思ひます。笑しかし目的がはつきりしてゐる必要だからやつてゐるのであります。ところが保育といふ事はあの可愛らしい幼児を相手に、

幼児の爲に設けられた建物の中で、幼児に適する可愛い事をしてゐるのは誰だつて面白く、好きな事であるに敢へて申します。酒に酔ふ如く、保育に酔ふこゝが出来るやうであります。それどころか、保育に醒めてしまつたといふのではないけません。保育は必要な事だから止むを得ずしてゐるが幼児は大嫌ひであるといふのでは保育になりません。その楽しい事も、酔ふ事も保育の大切な點であります。こゝで問題になるのはだから目的が忘れられ易いといふ事でありま。詩人の如き、藝術家の如き、酔つてゐる先生——假りにボヤ／＼先生を名付けますが——は困るのであります。もつこも何の爲にしてゐるのかは平生一々考へません、けれども目的を厳しく反省して時に間違つてゐてはなりません。保育はこゝによるこゝすすべての教育よりも我々をボヤ／＼させがちなのであります。

幼稚園に限りませんが教育目的を考へるについて一つの行き方があります。教育的、分析的、論理的、即ちやつてゐる一つ一つを分析的に目的とする行き方でありま。この遊戯、この手技によつて如何なる目的が達せられるかを考へて選擇する事は大切であります。これだけに終つてしまひ全體的に目的を反省する事がなければ充分とはいへないのであります。これがしばしば起りやすいのであります。更にまた、何事にしてもそれ／＼何か値打がある事であり

まして、恐ろしくかねて幼稚園でして居られる事はそれ／＼立派な目的を多々具へてゐるに違ひないのであります。皆さんはそれ／＼私のしてゐる事を見てくれ、かういふ目的でかうして云々いいはれる事でありませう。これもが幼児を害ふやうなごこちはない筈で、これも立派であり、結構なのであります。問題は、ずらりご目的を並べるのは平時であります。戦はねらつてうつつ事でありませう。彈丸一つねらはずには撃たぬのであります。

戦は一途な事でありませう。戦時保育において目的を嚴省するごは、いゝ事もまたやめねばならぬかもしれませう。所謂重點主義であります。いゝ事をやるごいふ言葉は理想主義であります。重點主義は必要に向ふごいふ現實主義であります。我々は悪い事はしてゐないが何處に向ふかを考へねばならない、戦時保育は之を落せば他にごんなに良い事をしてゐるごいふ觀方に向つてゐるのであります。然らば何を重點として保育目的を省みたらよいでありませうか。

(い)健康方面につきて

戦時保育ごいつて今迄してゐる保育目的ご違ふごを待たもつて來る事はないのであります。今迄の保育目的の中

にごごを重點にするか、同じ事をしてごきういふ解釋、心持するかが大切なのであります。幼児保育の目的は誰でも、何時でも健康を目的ごします。戦時でなくても健康は大事であります。戦時保育なる故に健康を重んずるごいふのでは、普斷は重んじてゐないごいふごこちになる。健康を重んずるごいふその事は、戦時保育の特色ではない——ごいつても戦時保育における健康の重大性を減するものではないが——健康について如何なる特別な事が必要かごいふ問題になるのであります。假令は違つた風土に耐へる健康を養ふ事も一つの新しい事柄でありませう。健康そのものの普遍的な事ごして寒さ、暑さに鍛錬するだけでごなくこの子がやがて征く地の寒さ暑さを考へるのであります。次に、幼稚園、保育所に於て健康を重んずる事は、その子供の健康を重んずる事でありませう。單にそれだけに止らず、國民人口問題ごしての役目であります。従つて強い子供を十分強くする事も大切ですが、弱い子供を丈夫にする事は日本の子供一人でも大切だごいふ現實にぎり／＼に來る事なのであります。昔は弱い子供は仕方がないごして省みなかつたかもしれませんが、今日は一人をして何人にもあたらせる上にこれが大切なのであります。強い子を丈夫にするごこちには誰でも好んでする事であり、また素人でも出來る事でありませう。弱い子供を丈夫にするのは現實を憂へる人、玄人

よるものであるから、保育の結果に支配されるところ大であります。この検査は特定な保育をなして、體力増進が出来たか否かを見るのではなく、この六種目に向つて鍊成させるのでもありません。懸垂を一日させておくといふ編蝠幼稚園(笑)ではない。具體的生活行動の中で體力が増してゐるまいか意味だけであります。疾走にしても、毎日何時間駆けるまいか事を奨励するのではないが、普斷の生活活動の中に遊びを體力的遊びにしてゆくまいか事、目的標準をこゝに考へてよいと思ふ。例へば鬼ごっこにしても、足の早い子供は二十五米の距離を五秒、遅い子供は約八秒でありますが、このおそい子供を七秒、六秒に引き上げるべく先生は逃げる方になるわけであります。荷重疾走にしても同様、大きな積木を片附ける手傳なごにおいて、その子供に即して心ある研究が必要なのであります。十疋のものを十米運ぶに四秒かゝるのが普通とすれば、子供の體力をしらべてその標準に到達することを目的としてゆくのであります。特別の怪力兒を養つて本國の體力かくの如しと自慢をする必要はない。その實十人中、優秀者は二人、他の八人は病弱なごといふのでは困るのであります。(笑)體力は二つに分類して考へられるのであります。例へばかけっこにしても、その位早くまいか事がある一つ、又、その位長くつゞくまいか事がある二つであります。力には耐

へる力と一氣呵成にする力とある。投擲についていへば、二五〇瓦の重さのものを八米投げるまいか事でも、その距離を長くする事だけでなく、何回つゞけて投げられるか、しかもつゞけながらその距離をだん／＼に増してゆけるかといふ事が國民に要求されてゐるのであります。大東亞戰爭が要求するのは日本人の持ちこたへる力であります。幼兒に今すぐに行軍させるのはありませんが、狙ふところはつきりさせるのはこゝにある。いひかへれば強靱なる體力であります。もろくない、一つの仕事に燃えたつてしまふのでなく、ねつちり續く體力です。

(ろ) 性格方面につき

次に健康と體力とははせて性格を重んじなければなりません。これは平時においても同様であります。たゞ性格といふ言葉ぐらゐる多面的な事はないのでありまして、恐らくこれもこれも揃はねば完全な性格とはいへないであります。體力においても同様でありますが、それ以上、性格の完全さの要求は多いのであります。しかし多少重點的に考へたいのであります。その重點が戦時に於ては國民的性格なる事は申すまでもありません。何があらうとも先づ國民的性格がなければ駄目であります。性格上駄目な人間であ

まして今日缺くべからざるものなのであります。

(十三頁より)

歩行訓練を日と距離を定めて試みて居る所
乾布摩擦を實行してゐる所
榮養劑を與へてゐる所

海岸行き又は山登りを行つてゐる所

體操を毎日してゐる所

偏食矯正の意味で給食をしてゐる所

日光浴、戸外保育をしてゐる所、等々又

精神的 には大稜威に、皇軍に盡きない感謝の心を持つやうに。

我儘強くあるやうに。と云ふことをどちらでも考へて居られる。皇軍が赫々たる戦果を擧げる理由の第一には、いつも皇軍は陛下の御爲に力の限りを盡すことを至上の行と考へてゐること、第二

には、皇軍は困苦缺乏に堪へ忍んで頑張るからであるといふことを云はれるが、これを聞く度に、今私共が預つてゐるこのお子達を、今の將兵にも負けないやうな忠勇なそして頑張りのきく人に育て上げなければならぬとは、誰しも心の内に期することなのであらう。この他、現在の物資の貴重の中に生きてゐる者として、物の大切なことを痛感させ、物を大切にするやうにといふことを考へて居られる。

以上が、皆さんから頂いた回答の取り纏めである。

(編輯係り)

るさいはれ、またその爲に世間的には貴敬されてゐない人が今日、國民的性格に立派なものを表はして働いてゐるのをきく時は實に愉快であります。反對に、立派な紳士を敬はれてゐた人が、今日國民的性格において缺けてゐるのを見出すときは悲しいことでもあります。戦時保育は性格の國民的さいふ事に重點をおきますが、國民的性格には二つをあげられる。一は内容的な意味において、日本を愛する、日本人的な精神、ものゝ考へ方感情であります。これは疑なく國民が實行してゐることであるが國民的はこれのみではありません。國民的は單數でなく、複數の言葉であります。一人一人がみんなに日本人的であつてもさうまでも一人としてしか動かなければ國民的といふ言葉にあてはまらない。國民的は一億をいふのであります。國民的に行動するは國民が一しよになつて行動する事であり、一人一人が戦つてゐるのでなく、全體が一つになつて戦つてゐるのであります。その爲に人を一諸になれる性格をつくつておかねばならない。好きな人だけでは嫌な人も一しよになれる性格であります。個人主義は今日非國民的であるといへます。人一しよになれる性格を養ひたいのであります。幼稚園においてはかゝる意味は別に、社會性の訓練といふ意味で人一しよになれる性格を重んじて來たのであります。その程度でなく國民的に生きるの必須條件

各園戰時保育の實施事項 (回答の要點)

八月の本會講習會は、八百人近い、この道の同志が一堂に會するるのであるから、この時局下幼稚園に於て、各々が實施してゐる事柄をお互に語り合ひ度いといふ氣持で、左の問題を印刷して有志の方に御回答を頂いた。

「貴園では戰時保育として如何なる事を御實施になつて居られますか。」

何れも御熱心な御回答をお寄せいただいた。一々掲載致すべきであるが、紙面の都合で纏めて、皆さんの御參考に供すことにした。御回答を下さつた方々に對し、紙面をかりて厚く御禮を申上げる次第である。拜見してゐると何れも第一に

皇室尊榮 を擧げて居られる。宮城遙拜、皇室に關する御話、その態度、敬語、等細かい所まで心を用ひて居られることがよく分る。そしてこれは平時から特に氣をつけて居たのであるが、只今は特にそれを強調して居ると附記してある。第二には

神佛の拜禮 これは毎月八日の大詔奉戴日に行ふ所、月の一日、十五日の兩日に行ふところ、大戦果の報導のあつた日に行ふところ、いろ／＼ある。

防空訓練 幼稚園や託兒所に於ては主として待避訓練である。防空服裝を整へること、及びそれを着用させること、又待避の練習、伏せの姿勢を練習することが各幼稚園に於て行はれてゐる。

日時は大詔奉戴日に行ふところ、毎日のお歸り前に行ふ所等ある
勤勞奉仕 勤勞奉仕と言つても幼兒には六ヶ敷いので、母の會を活動させ、母を動かして、勤勞奉仕をして居られる所がある。幼兒には特に協同的作業をさせることに意を用ひ、土運びや、床園庭の清掃、蔬菜栽培をつとめさせて居られる。

慰問 出征家族及遺家族を招待して慰問せられてゐる所が多數ある。又軍の病院に近い所では、幼兒の作品を持つて時々慰問に行かれてゐる。又幼兒の繪、手技等を送つて慰問せられ、又幼稚園託兒所に於て慰問袋を作成して送つてゐる所もある。

獻金・貯蓄獎勵 一般的に獻金、貯蓄の獎勵をなし、幼兒の貯金を取り扱かつて居る所もある。

保育時間の延長 朝三十分早くとか又は退散を三十分から一時間位延ばして居る所が多數あつた。

保育料辭退 出征遺家族の受託兒に對し、保育料の辭退をせられてゐる所がかなりあつた。

園兒増員 定員より増員してゐる所が殆んどである。家庭が忙しくなつて來たので、世の要請にこたへての増員である。

以上の外、將來の第一線の勇士としての根基に培ふの意味に於て、どちらでも幼兒の健康を擧げて居られる。

健康 幼兒をして健康であらしめる爲に、ごこの幼稚園でも保育所でも、次のいろ／＼の試みを致されてゐる。

武藏野母子寮を觀る

附屬幼稚園 清水光子

大宮公園に程近い、まだ武藏野の悋豊かなこゝ、武藏野母子寮をみせていたゞいたのは又々西南太平洋の輝しい皇軍の戦果が發表されました時で感慨一入深い心地でした。

明るい玄關に立つて受付の方の微笑に迎へられ、來意を告げますとすぐ幼稚園の山本先生が出ていらして二階の見晴しのよい應接室にお連れ下されこの母子寮について色々お話し下さいました。昭和十年十月に開寮された民間社會事業團體の事業であつたのが支那事變の勃發と一しよに世の中の認識も急に昂まり、又入寮希望者が大變増し、昭和十四年に恩賜財團軍人援護會の手にゆだねられ、設備擴張され、この様に内容充實され、收容世帯定員が開寮當時の倍になつたといふお話を伺ひ、今日までになさつたこのお仕事の道は中々大變であつたらうと思ひました。

まづ母子寮の方をみせていたゞく、お母さん達はそれ〴〵職場へ、學校へ、お仕事へ、と行かれ、子供さん達も學校へ、幼稚園へと行つて居られる時刻で廣い建物の中はしんと靜である。まづ二階の集會室、五十疊敷位の廣間で舞臺もある立派なお室で、こゝでは時々常會(この寮特別の隣組菊櫻會の)が開かれたり慰安會

修養會などが催される他毎週生花のお稽古があるとのこと、この寮が單なる遺家族母子のアパートではないことがよくわかるのでした。前の廊下を右に折れて行つた突當りの室は休養室になつてゐて三つ程の室が他の室々と全然はなれてゐてこゝは法定外の傳染病たとへば麻疹とか百日咳とかの人達がこゝで休養する事になつてゐるとのこと、團體生活上行届いた設備であると思ひました。休養室の前の廊下をまづすぐに行くとなつと母子室の廊下につゞきます。母子室はコの字形に一階二階同様に竝んでゐます。

お室は六疊で正面に佛壇が備へつけられてゐますのも誠に當然とは言ひ乍ら心うたれました。押入、床の間の配置は決して廣い室ではないのにゆつたりと住心地よささうにみえました。廊下隔つてお臺所と洗濯場が竝んでゐますが時間のないお母様さん達が働かれるのにまことに都合よく出来てゐります。四十世帯分のこの寮内のどの部屋も同じ條件に作られてゐるとのことでありました。次に共同のお風呂場、こゝは一週に二度沸きますとのこと、交替に順序よく互に流し合つたりして入られるのでせう和やかな光景のいかにもと想像される明るい清潔なものでありました。

階下の玄関のすつと並びに醫務室、こゝは寮の母子の爲海に行届いた衛生健康の施設がなされてゐるのです。専任の醫博が定期的に保健の指導をされ、毎日保健婦の方が母子一人一人について適切な處置をされてゐるので、弱いお子さんの榮養や、病氣豫防の爲には萬全の策が採られてゐるのです。中庭に面した圖書室、全寮に放送の出来る装置のついた寮長室が、その室と並んでゐます。中庭には我家の庭、菜園として樂しまれてゐる様子がみえました寮の本館は敷地六七五坪で建坪延て五九八坪餘りの由、廣いのにまとまりよく感じよくつくられてゐります。すつかりみせていたゞいて感心しつゝ外に出て、今度は幼稚園に御案内いたゞきました。

さつきからうすもゝ色の幼稚園がほゝえみかけてゐるような心地がしきりに致しましたが「ほまれ幼稚園」といふ低いご門をくゞるとあの可愛いゝ聲々が建物と庭にひゞき、「先生今日は」と言つて山本先生に飛びついて来るお子さんに迎へられてお玄関を入りますとまづ黒板に今日のお晝食とお入つての獻立と明日の豫定とがかかれてゐます。幅の廣い廊下が鉤の手になつてゐてその兩側に

お室が並んでゐます。始めての訪問者である私を、迎へて下さるお子さんの何と朗らかな明るい顔、顔、若し少しでも何か特別ないぢらしい顔つきな想像でもしてゐたらそれこそ失禮かも知れません。すくすくとのびのびした潑刺とした子供の世界が一ぱいに幼稚園中に繰繰げられてゐました。南へ圓く廣い遊戯室の天井、壁には四季の子供の生活を童話化して畫かれた子どもすきさうな、そして高尙な、

壁畫があります。この道の大家の奉仕で出来たこのことゝまことに見事なものでございました。この室の上座の壁には高貴な方のこゝへお成りの折のお寫眞がかかげられてあります。お子さん達は奥の運動具入れの小部屋から思ひ思ひに鐵砲だの、積木だのをもつて來て遊んでゐます。二三人頭をよせてまはりにつくりつけの椅子の上で繪木にみ入つてゐるお子さんもあります。ヨチヨチ歩きの子が庭への出口に腰かけて足をブラ／＼させてゐますと大きい女の子が出て靴をはかしてやつてゐます。庭への出口には外ばき入れの棚があつて大ていは可愛いゝ下駄が入れてあります。それをはいて外へ出て砂場やプール(夏には水がはいる)でさつそくお園子やさん、ごさを敷いてまゝこのお家が始つてゐます。先生のお母さまに抱かれた赤ちやんは本たうにねむさうでむづかつてゐます。と先生は抱いて立ち上り、子守歌で揺つてねかしつけていらつしやいます。ブランコの電車は満員、ジャンゲルジムの軍艦、勇ましい兵隊さん達、まことに和やかな情景です。と先生がお集りしませうと仰言います。十時半近く、體操が始まるのでした。三組のお子さん達が並んで著音機でラヂオ體操でした。三歳四歳のお子さんの赤組でもとに角一緒に手足を振り、上げ、てゐます。それがすみますと大きな組からわになつて遊戯でした。聲も大きくとても元氣な遊戯でした。それから組々のお室に入り大きい白組ではあつてつこ遊びと塗繪、中の組と小さい組は一寸した遊びをしてそろ／＼お食事のお仕度でした。一番奥のお部屋は午睡室で可愛いゝ赤ちやんぶとんにお午ねのお子さんが二人ありました。五右衛門風呂があつて土曜日の午後湯あみをおさ

せになるとのこと、暑い長い一日の間にはまことにいろいろ事だと思ひました。調理室では榮養士の指導をうけられた小母さんが、体操の時大きい組のお當番のお子さんが全體の人数を數へて報告されてあるので數だけのお皿に、おかつをよそつてゐます。手洗ひ、うがひのすんだお子さん達はごはんだけのおべんたうをひろげます。おかつのお皿がくばられ、お茶がつかれますとみんなおちついて兵隊さん、ありがたう、靖國神社のお父さまありがたう、を言ひます。まことに心打られたのでした。食後はビタミンB劑をみんないたゞきます。一年四ヶ月といふ最年少のお子さんもおさちで一人で食べてゐます。先生はいろ／＼お世話で御自分のお辨當はゆつくり上げませぬ。食後の片付けは大きい組のお子さん達はみな自分でしますが小さい組の方はこぼしたのを拾つたり口や手を拭いたりその世話は並大抵ではありません。その間眠くなつてむづかるお子さんに添漕なさつたりこ不淨のお世話、まことにいくつ體があつたらよいかと思はれる様なお忙しきでした。大きい組の在籍は十九、中の組は十一、小さい組は十人とのこと、よくもかう馴ていらつしやると感心いたしました。お子さん達は次々外へ出て元氣に遊んでゐます。その間、ヂフテリアの豫防注射を受けに母子寮の醫務室へ並んで行くお子さん達、一

人だつたら泣くかも知れない注射も泣かすにして戻つて來ます。百日咳の豫防注射ももうすんだとの事でした。

「そろ／＼お八つのお仕度をしませうね」と先生が言はれます。

お辛のお八つとのこと、みんな手を洗ひに行きました。

日永の一日をかうして本當に楽しくみせていたゞきましたがお八つのお仕度を拜見して、失禮させていたゞく事にして御挨拶をして居りますとつと私の手に、手をつないで芝園まで送つて下さるお子さんがあります。大勢のお子さん方にさやうならと送つていたゞいて、幼稚園を出たのでございました。學童館の方は拜見いたしませんでしたが、男の先生と女の先生がお二人で學校から歸つた子供達の勉強から遊びからすつかり御指導になるとのこと、よそ乍ら拜見いたしました。

歸るみち／＼のお忙しいお仕事の中を先生には、すつかり御説明下さり、お心おきなくみせて下さいました事を、その上私の心に、何か強い緊張と反省を與へられましたことを感謝する氣持で一ぱいでございました、と同時に私も一人の日本の母親として、あそこの母子の方々があくまで雄々しく進まれるよう切に祈つたのでした。

猿江善隣館を問ふ

附屬幼稚園 志村 貞子

四月二十八日の午前と五月一日の午後と二回にわたつて猿江善隣館を參觀させていたゞいた。お忙しいところを度々御迷惑をおかけし恐縮に存じたことであるが、その都度御鄭重な御案内と御懇切な御説明を賜はつたことは誠に感謝にたへない。こゝにその參觀記を記すにあたり紙面をかりて厚く御禮を申上げる次第である。

猿江善隣館は市電住吉町一丁目下車して北約半町程行つたところにある。二十八日は他の團體見學の方々と御一緒であつたので、先づ講堂で館長先生から本館の沿革事業等について御話を伺つた。本館は隣保館として計畫設立されたものとしては東京附近に於ける最古のもので「善隣」の名稱は故澁澤子爵の命名ださうである。大正十一年六月に財團法人協調會によつて設立せられたが、開館一年餘で大震災の爲烏有に歸してしまつた。當時長くも、皇太后陛下より御見舞金一封下賜あらせられ、政府よりも復興資金を交附せられた。その後、附近の不良住宅地區改良を企畫した財團法人同潤會に譲渡せられて昭和五年四月、現在みる鐵筋コンクリート造三階建約二百五十坪の隣保館が竣工したのである。經營については西本願寺が委託をうけて大日本佛教慈善會財團がそ

の衝にあたり、竣工と同時に事業を開始してなされる。事業に就いては要目をあげるだけでも兒童部、教育部、經濟部、社會部、社交部、體育部、診療部の七部、細目四十六種の多岐に亘り、隣保地區居住者の生活の指導、鍊成、保護等にあたりその向上發展に盡してなられるのである。この附近は以前猿江のトンネル長屋といはれた地區である。その生活指導に當つては、先づ各人の居室に行かれて、整理、整頓を手づから手傳はれたさうで或は家庭紛擾の調停、健康相談、母姉會の問題等々實生活に深く喰ひ込んだ人情味豊かなお話を伺ひ「何でももちこんでくるんですよ」との御言葉も真にさこそと肯はれ、地區の人々にとつては大きな心の據りどころになつてゐるであらうことが誠に有難く感じられたのであつた。なほ隣保地區居住者について各個別に綿密な調査がなされカードに記録されてゐることはこれらの指導にあつたつての重要な目安になることである。

ついで館内各室を御案内いたゞいた。先づ健康診療室、こゝでツベルクリン反應検査、レントゲン検査等がなされ、專任の館醫が居られて兒童の診療にあたられてゐる。なほ診療部の事業として別に隣接のあそか病院受診委託の券を發行され、又濟生會住吉

診療所並公私病院其他に紹介の勞もとられてゐる。委託券には施療委託(無料)と輕費診療委託(半額)とがあつて受診希望者の經濟狀態を參照して發行されるのであるが、徒らに依頼心を起させざる結果にならぬやう深い配慮が必要であるとお話で、誠に一方ならぬ御骨折のことと思はれた。最も多い疾病は何かと伺ふと、從來は青少年の結核であつたが最近にいたり、乳幼児の麻疹、肺炎、チフテリア等が多くなつたとのことであつた。以前乳幼児の死亡率は母親の育兒衛生知識が低かつた爲一五パーセントもあつたが、その後、指導により向上して死亡率皆無といふ喜ばしい結果をあげたが前述の病氣の爲、最近また少し増加しつゝあるといふお話で誠に惜しいことである。保育室は三室、こぢんまりとした明るい感じのお部屋である。他に一室、遊戯室兼劍道場(夜間)の廣い部屋を仕切つてこれにあつて、いらつしやり計四室からなつてゐる。お子さん達は皆お庭で、元氣よく遊んでゐてお部屋には柵にきれいなバスケットの列がみられたよけであつた。幼稚園、保育園のお仕事については後で少しく記したいと思ふ。

こゝで階段を下りて地下の炊事場をみせていたゞく。幼児の榮養給食を拵へて居られるのである。お食事拵へは館内の藤影女學校(修業年限二年)の二年生が六人づゝ毎日交代でなさるさうで拜見した時は十一時頃であつたが、もう美味しさうな五目御飯が出来上り、皆さんは器具や調理場の後始末をしてなれるところであつた。以前は獻立から買出しでしたが、昨今は市の特設市場から配給をうけてゐる。炊事場といつても普通の家庭の勝手と殆ど變らずたゞ規模がいくらか廣い程度である。これは館長先生のお言葉

であつたが「不完全な設備のもとでやらせてゐる。何故設備を整へないかといふと勿論豫算の都合もあることであるが、設備をしない方針——といふと大げさであるが——なのである。特別な設備がないと出来ないお料理を教へるのでは實際の家庭生活に役立たないからである。生徒も又母親も學校が舞臺で家庭は樂屋であるから舞臺でさへ立派なら樂屋でどんな我儘をいひまた甘やかしてもよいといふ從來あり勝な考へ方を根本から改めなければならぬ。學校は樂屋で家が舞臺なのである。學校での鍊成は舞臺である家、大きくは日本の國家にお役に立つやうにするにあるので學校でこれだけの仕事をする生徒を家で母親が甘やかしてはならないといふ事を強調してゐる。つまり生徒と共にその母親の教育も重んじてゐるのである。これでなければ教育の立派な成果をあげる事はむづかしい。」とお話、誠にさこそと感銘深く伺つたことであつた。「なほ炊事の實習にあつた生徒に對し特に補缺授業はなさない。これは無理のやうに思ふかもしれないが、何處の學校も病氣缺席の生徒に補缺授業をしないのと同様である。缺席時間の分は自分達で研究し、不明の點は先生や友達に質問して自學自習してゐる。ましてその休むのは病氣の爲でなく、子供達への給食といふ有意義な仕事なのであるからそれの與へる精神的なすぐれた影響も又病氣缺席とは比べものにならないわけである。」といふお話であつた。また女學校の方達は直接に保育のお手傳はなさらないが、遊びの時間(運動場が一しよである)。及炊事實習等によつて子供達の扱ひ方も自然心得るといふことであつた。炊事場はもうすつかり片附けられて磨き上げられたお釜の縁が光つて美しかつ

た。次に階上にある兒童圖書館をみせていた。蔵書冊数四六二五冊(十七年度)附近居住の子供達に貸出してゐる。以前は先生方が貸出の事務をどられたさうであるが最近は兒童に責任を持たせてさせてなられ却つて紛失圖書等も少いとのことであつた。先づ信ずることですよ」とのお言葉、味ひ深く承つた。子供達の最も好むのは漫畫、講談本等で一體に低級なので先生方が子供常會に出席せられて讀書指導や紙芝居等をしてその向上をはかつていらつしやる。次に館長及職員の仕事をお見せ下さつた。御家族と共にこの土地に生活してをられるのであつて、これでこそ眞にこの地區の人々の生活に亦心に入り込んでの指導も可能なのであり、指導を受ける者もこの土地に居られる先生方に身内のやうな親しさ懷しさを心から感じて何事でも持込まれて相談なされるのであらう。従つて事務所に居られる時のみならず御家の方にも人事問題の相談等が持ち込まれ、先生方は職場と御家庭との別なく常にこれらに應接指導せられるさうで、その御職身のお働きには自ら頭が下るのである。次に館に隣接の住吉アパートを見せていた。こゝには三百二十世帯、一千三百二十九人の居住者があるが、特にこの地區居住者には隣組常會を通じて先生方も組員の一人として御指導にあたつてをられるのである。なほ先に記したやうにこの地區居住者には各個別に精しい調査表が出来てなり、生計状態により扶助をうけてゐる者もあるが、軍事扶助をうけてゐるの名譽の應召者を出した〇〇世帯の中僅か九分の一弱の〇世帯であるといひ、留守宅の健氣な御覺悟の程がしのばれた。なほ扶助をうけてをられる方々も、徒食する事なく前にある授産所で勤務

に従事し生活の維持向上に努力せられてゐるとのお話で實に力強いものを感じさせられたのであつた。また他の法律による扶助を受けてをられる世帯には出納簿に記入させることにより生活費の細目にわたり指導檢討を加へられてゐるのであつてその行届いた生活指導に敬服した。

アパートの階段を降りてふと見上げた三階の窓に紙製の小さい鯉のぼりが三匹勇しく翔つてゐた。親心が思はれて有難くまたこゝにも日本男兒ありの力強い感を覺えて心をうたれた。

善隣館に歸ると幼稚園児たちのおひるが始まるところで、列をつくつて楽しさうにおうがひをする姿がみられた。この日はこれで辭去したので、なほ保育の實際を參觀させていたときたく五月一日にまたくお邪魔したわけであつたが、この日も時間の都合で丁度お歸り前であつた爲、お子さんと遊ぶ折はなく残念であつた。こゝにお教へいたゞいた大體を記すが、以てこゝの保育の一端について御想像いたゞければ至らない參觀者として望外の幸である。

本館の兒童部の事業の一つとして猿江善隣館幼稚園と同保育園がある。昭和五年九月二十三日に開設せられたもので、收容定員は満三歳以上の幼兒を、幼稚園が百二十名、保育園が五十名である。幼稚園は文部省令により、保育園は厚生省令によるものであるが、在籍簿にその別があるだけで保育においては全然區別せず、組の編成も兩者混淆して何等差別はしてゐないのである。地區的な必要から長時間保育を開館以來行つて來てゐるので毎日午前九時から午後四時といふことになつてゐるが家庭の都合によつては

更に長時間にわたつて預ることもあるさうである。この長時間保育といふことについては教育の理念からいへば種々論議があるところであらうが、早く家に歸された後の、子供達の生活を考へると、任意に放任して能事了れりとする事は教育精神にも反することであると思ふし、生活環境といふ地區的な必要から長時間保育を行つてゐるのであるとの御説明であつた。幼児を通じての家庭への手助け協力といふわけで、その結果は大變入園希望者が多く約五倍にも達するので、出征軍人遺家族、隣接アパート居住者、五大産業戦士の子弟を優先的に入れ、餘は抽籤によるといふ。かかる施設をもつと、増加しなければと思はせられる。保育料は月一圓であるが家庭の事情により減免せられる。免除といふ事は一面肩身の狭い思をさせるので、免除のものも出来た時貰ふといつておかれるさうで、親の心掛により三年後、七年後に保育料が出来たと持參する者もある等のお話を伺ひ、眞に細やかなお心遣ひだと感じた。

毎日の保育については、午前九時半に集會の鐘(青銅の古雅な板を槌で打つ)を合圖に遊戯室に整列し靜坐をする。靜坐といふのは、床の上に正坐して眼をどち氣持を落着けるのである。殊に日曜一日を自由に遊び廻つた月曜の朝は集るのにも騒がしいが靜坐をするとすつと落着くやうですとのお話であつた。それからお當番の先生によつて國民儀禮の後、前日の反省、その日守るべき事柄等につき御注意があり、お話や時にはお芝居をしていたゞくさうである。集會後は各室で保育がある。只今の在籍幼児数は百五十名で、松組五十二名と、藤組三十九名が最年長、梅組三十二名

が中間、桃組二十七名が新入園兒となつてゐる。年長組の方が年少組の方と手をつないだりして遊んであげてゐる様子は微笑ましい。泥いぢりと蟲遊びが今一番よろこばれてゐるさうである。一般兒童遊園と兼用の爲か、遊具が一體に大きすぎるやうにも思はれた。お晝食の時は女學校の方が盛付けたすませたのを、先生が部屋まで運ばれると、子供達が配るさうで先生のお手助をして何でもよくなるやうである。家庭でお手傳になれてゐることもあらうが小さい時から勤勞をよるこぶ心持を養ふことは大切なことである。お部屋のお掃除は朝なされるさうであるが、どん／＼お手傳ひして拭いたり、掃いたりしてくるので助りますとおつしやつた。なほ三時にお入つをいたゞく。これも市から配給をうけてゐるものでその時により違ふがパン、やきもの、うち菓子、粉菓、子、あめ等をいたゞく、四時までのお腹のたしになる程はないさうだが、子供たちにとつてどんなにか樂しみなものであらうと思はれる。またお入つは幼稚園でいたゞくから、お家でのお入つのお代は貯金しませうともいへるわけで貯金預入金額は五千百二圓(十七年度)に達してゐるさうである。私が伺つた時はもうお入つもすんで夫々遊んでいらつしやつた。子供達とさやうならをした後、先生方から實際の貴い御經驗の數々を伺はせていたゞき、單に幼児の保育にとゞまらず、幼児を通じての母親の教育、家庭生活の指導といふ大きなお仕事を果されてゐることを誠に有難く存じ、その獻身の御生活に深く深く敬意を表する次第である。終りに諸先生方の一層の御健闘を祈り上げて冗長にわたつた筆を擱く。

師範學校の保育實習

新師範學校は教育の實習に重きを置き、十二週を之れに與へると共に、教育實習規程を詳細に定めた。その十二週の中二週を保育實習として、女子は必修とし、男子も亦希望によつて、之れをなさしめ得ることとした。附屬幼稚園を有する、師範學校はそこで實習させるのは勿論であるが、附屬幼稚園を有しない場合、代用附屬幼稚園に於てする。附屬幼稚園の場合には、従來も實習指導の經驗があるが、新規程によるのは今年から始めてある。況んや、代用附屬幼稚園の場合には、多くは實習指導の經驗のないのが普通である。いづれにせよ幼稚園は、この新しい任務に對して、新しい研究を必要とし、現に種々考究してゐられるのである。われらも、この新研究のために、之れから後充分力をいたしたいと考へてゐるが、先づ諸方面の貴い實際と御經驗とに就て、實情を御知らせ願ふことにした。此の他、もつと廣く伺ひたかつたのであるが、その機會を得なかつた。是非進んでお知らせ願ひたいし、こちらからも御尋ねいたしたいと思つてゐる。事は初めが大切である。師範學校に於ける保育實習といふ重要なことの發展に對し、その初めを充分しつかりしたいものである。左に新師範學校規程の中の、教育實習の項を抜萃する。

指導期間

第一期	教育見習	約一週
第二期	基本實習	約八週
第三期	地方實習	約二週
第四期	綜合實習	約一週

保育實習

女子に在りては第二期以後適當なる時期に於て約二週保育實習を課すべし男子に在りても適宜幼児保育の實際を實習又は見學せしむべし

保育實習 指導要項

一、指示及講話

(一) 保育の心構態度と保育上の諸注意

(二) 保育計畫の基本様式と保育案の立て方

二、見習

保母の保育方法を見習ふと共に幼児を觀察することに意を注がしむ

三、實地練習

(一) 生活訓練を基本とし綜合保育の修練を爲さしむ

(二) 幼児の心身發達の程度に應じて適切なる保育實習

を爲さしむ

(三) 幼児の家庭環境を顧慮し特に社會的、保健的見地より適切なる保育實習を爲さしむ

指導上の注意

- 一 皇國民の練成に於ける幼児保育の重要性と其の特質とを會得せしめ國民保育の自覺に導くべし
- 一 日常生活に於ける躰の緊要なる所以を知らしめ特に國民的心情の啓培、保健衛生及社會性に關する躰に付適切なる指導を爲すべし
- 一 保育案の中心項目を談話・遊戲・音樂・觀察・手技等を通じて綜合的具體的に發展せしむる練習を爲さしめ且自由遊びの指導法に付て習得せしむべし



大阪第一師範學校附屬幼稚園

清水桔梗

決戦下の本年四月、師範學校令が改正になりました、先づ幼稚園に専任の主事が任命され、保育の向上研究と、保育實習生の指導に専念されることになりました。

さて師範學校生徒は國民學校の實習と同様、一定期間の保育實習をしなければならなくなりました。文部省の指示によりまして、どうしても二週間の保育實習をしなければならぬのでございますが、當師範學校は擴張に擴張を加へまして、現在では卒業學年が九學級もございまして、一回の實習生は三學級宛まゐり

一 幼児の身邊に絶えず留意しつゝ周到なる世話を爲し親身を以て幼児に接するの態度を養ふに力め特に幼児の健康状態に細心の注意を拂ひ事情に應じて適切なる措置を講ずるの修練を爲さしむべし

一 幼児と生活を共にし幼児に對する理會を深からしむると共に幼児の活動性を躰の上に活用して良習慣に導くの態度を養ふべし

一 農繁期保育實習 家政科育児實習等と緊密に關聯せしめて保育の要諦を會符せしむるに力むべし

一 家庭との連絡に付て指導し特に母親教育の緊要なる所以を知らしむべし

ます。三學級で平均百二十名、幼稚園の方は三組でしかも三年保育を實施致して居りますので、最年少児は保育時間も短かうございまして、一時に百二十名もまゐりましては到底實習は出来ませぬし、幼稚園といふことさへつかみ得ませんと存じ、國民學校と交渉の結果、一回に約二十五名乃至三十五名宛實習に來る様に、そして一實習生は一週間宛として、幼稚園は四週間續けて實習期間とするに致しました。これでは國民學校の實習も充分出來ない様でございますし、幼稚園と致しましても、僅か一週間に三十

五六名も来ましたら、實習生の氏名を覚えるだけでも容易な業ではございません。この状態では、唯實習生が幼稚園を素通りして行くだけの事で、幼児保育の重要性も、國民學校の教育に従事するにしても幼児保育の實際を知つて置かなければならない必要も、知らずして済んでしまひます。

保育實習指導豫定表

第一期第一回生の指導表

月日	曜	六月七日	八月	九月	十日	十一日	十二日
	曜	月	火	水	木	金	土
8.00		講話	自 大式 戴奉	講話	講話	自 成 念	自 山
9.00		五月	發表會豫行演習	空 海 山	自然生活	自然生活實習	海 空
10.00		節		終	生活		終
11.00		旬		講話	食事參觀	食事參觀	清
12.00		食事	食事	食事	食事	食事	掃食
1.00							事
2.00		後片付、清掃	終 講話	講話	終 大清掃	終 反省會	反省會
3.00			講話	懇談	懇談		
4.00		講話	講話	懇談	懇談	懇談	

文部省からは

指導要旨、指導方針、指導期間、に續いて指導要項として、事細かに指示されて居りますが、期間が短かいのと、一組に配當になる實習生の員數が多いために、到底各自に充分な實習をさせることが出来ませんので、第二期の保育實習より、附屬幼稚園の外に、代用幼稚園を併設して實習

させることゝ致し、一實習生が規定の二週間確實に保育實習をすることの出来ず様に、此程各方面の了解を得ましたので、いくらか緩和され、落ちついて實習出来ることゝ存じます。

今、そのごとく致しました第一期の保育實習の指導表を掲げまして御批判を乞ふ次第でございます。

國民學校で教育實習をして来た者の頭には、どうしても授業といふことが主に考へられて、遊びの生活が主であつて、其の間不知不識のうちに保育して行く、所謂幼稚園保育の實習など、凡そ理解の出来ないものゝ様でございますましたし、保育の真髓に

第一期第二回生の指導表

月日	時	六月十四日	月	十五日	火	十六日	水	十七日	木	十八日	金	十九日	土
8.00	9.00	朝禮	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話
10.00	11.00	終禮	自然生活、	終禮	自然生活、	終禮	自然生活、	終禮	自然生活、	終禮	自然生活、	終禮	自然生活、
12.00	1.00	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃	清掃
2.00	3.00	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話	講話
4.00													

いたりましては觸れられようもございませんでしたが、折にふれて指導講話を致してまゐりましたのと、保育實習反省會を、一週に前後二回開きまして、ごし／＼保育に關する質問、幼兒に關する質問などをさせ、その處理を主事始め私共實務者が致してまゐりましたから、漸く、國民學校と幼稚園は、皇國民育成といふ精神は一にして二でないこと、そしてその方法が違つてゐるといふこと等なわからせることが出來ました。

次に實習期間が一週間でございませぬ關係上、全部が幼兒の前に立つて實習することが至難でございませぬので、その間、左の問題を提供して研究させる事と致しました。その結果が最近提出されました。只今調査中でございますまして、やがて何等かの質を結ぶものと喜んで居ります。

研究事項

1、ことばの調査

○満三歳兒に對しては、語彙の調査をすること

○満四、五歳兒に對しては、時局語の調査をすること。

2、個性調査

○満三歳兒は三名宛調査する

○満四五歳兒は四乃至五名宛調査すること。

3、保育實習の記録提出

○幼稚園保育についての所感並びに意見

○幼兒についての研究

○保育者についての所感

第一期第三、四回生の指導表

月日	曜	時
六月二十八日	月	8.00
		9.00
		10.00
		11.00
		12.00
		1.00
		2.00
		3.00
		4.00
二十九日	火	
三十日	水	
七月一日	木	
二日	金	
三日	土	
自然生活	自然生活	自然生活
集會	生活實習	朔日朝禮
自然生活	生活實習	杭全神社參拜
作	食事及終禮實習	設定生活終禮
業		食事
食事		作
懇		反省會
談		業
		終禮
		講
		話
		同
		上
		同上
		講
		話
		同
		上
		同上
		防空訓練
		身體検査
		食事
		食事
		終禮
		講
		話
		同
		上
		同上
		月曜朝禮
		空組保育
		海組保育
		山組保育

東京第一師範附屬幼稚園

堤

り

ウ

一、當幼稚園の成立と指導方針
在來の師範學校令では、女子生徒を教育する師範學校には成る

べく幼稚園を設置し、最幼學年生徒をして、保育の理念を知り、其の實際について大體の理解を興へやうとしてゐたのでしたが、

本年度師範學校制度が改革せられ、その女子部本科生は、教育實習に併せて必ず保育を實習すべきことが要求されるやうになりました。これは假令其の實習期間が、極く僅かであるとは言へ、入學前の教育、やがては幼稚園の教育の重大性が制度の上に現はれて來たことは見逃してはならぬ變化と言はねばなりません。

茲に於て當幼稚園も、取敢へず在來の二組の組織を以つて新制師範學校附屬幼稚園として設置されたことになつたのであります。

當園の保育は根本に於て幼稚園令並に同令施行規則に則ると共に附屬國民學校と一體となつて國民の基礎的鍊成をなすことを目標としてゐます。則ち本園で保育を満了した者は當校附屬國民學校へ無條件的に連絡し、此處に於て國民學校としての修練を受けて皇國民の基礎的な鍊成が完成されることになるのであります。

二、當園教生配當の方針

當園に於ける教生配當の方針は現在に於ては一年に三回、一回十二週と定められて居り、その十二週は更に

國民學校に於ける實習期間……十週間
幼稚園に於ける實習期間……二週間

と配當せられてゐます。この規定は文部省の諮問に對し當園より答申した通りでありまして、當園多年の經驗が、十二週の實習期間では、この位を適當と信じたのによるのであります。この幼稚園に於ける實習期間の二週間は幼稚園側から見れば、決して充分とは言へません。言はゞ最低の實習期間であつて、之より少く

は、保育の真相を掴み得ないと考へられるのであります。現制度の上では如何とも仕様がなないこととせう。

次に一實習期に於ける教生の配當數は大約八十名であります。この數は師範學校が本科生を二組づゝ實習させるために起る數で幼稚園としては如何とも仕難い範圍のことに屬します。

三、當園の教生實習の方針

右の如く當園は二組の規模に對して一實習期に約八十名の教生が配當されるのですが各教生は夫々二週間の保育實習をなす必要があり而も保育の性質上、一度に大勢は實習出來ないのでこの八十名を更に三班に分け、各班が順次二週間づゝ實習して六週間で保育の實習がすむといふやうに工夫して見たのであります。これによつて當園に於ける教生實習の目標である

(一) 保育の實際の概念を得させること

(二) 保育方法の大綱を理會させること

の二項をどうやら達し得ると思ふのであります。換言すれば充分熱した保姆としての手腕力量を與へることよりも、國民學校入學以前の幼児は如何に保育せらるべきか、又實際に於いて如何に保育せられてゐるかに對してその大綱を理會させることが出來ればよいといふことに主眼を置いてゐるのであります。

このやうな考へから本園に於ける教生實習の方案は先づ保育の概念を興へる時期、次に保育の基本的技術を知らせる時期、そして最後に保育の基礎的綜合的技術を得させる時期の三段階を経るやうに試みてゐるのであります。則ち

第一期、參觀講話期……最初の二日間、此の時期には保姆の模式的な保育を參觀させ、これを元として保育の理論並にその實際的運用について講話し、保育の重要性を看得させると共に其の方法上の大要を理解させることを中心目標としてゐます。

第二期、項目別實習期……中の八日間、この時期は、保育の項目別により、基本的な實習によつて各項目の狙ふところを究め、保育法の通則を理解させることを中心使命としてゐます。従つて教生の實習は勢、形式的分科的になるのを免れぬので保姆はこれら内容的に統一あるものに綜合することに勉め、教生の實習を具體的な幼児の生活に結び付けて、その一環となるやうに努力してゐるのであります。

第三期、総合的實習期……最後の二日間、この時期には保姆によつて補はれてゐた幼児の全生活の指導を、教生自らの工夫によつて營ませ、保育の實體の片鱗を掴ませることを目標としてゐます。従つて保育の實際の運営は多少劣拙でも少くも一日を通して、一貫する指導體系の下に幼児にとつて教育的な一日が送られるやうに立案實施することを目標として實施させるのであります。

このやうな段階を踏ませては居りますもの、一實習期に於ける人員は前期のやうに班別してもまだ多過ぎて困るのであります。そこで本園では第二期以後は更に次の様に循環的方法を用ひて實習の効果を高めるやうに試みて居ります。則ち

一實習に對して保育者として二名を配し、内一名は正保育者、他の一名は補助者として正保育者の補助をさせます。正保育者、

補助者は次の日に立場を交換し、相互に工夫し、又援助し合つて實習の完成を期すやうに努めさせます。これで幼児の一組に、一日三項目を指導させれば六人が實習に當ることになり、四項目を指導させれば八人が實習に當ることとなり、自ら實習の回数を増し、實技習得上必要な「慣れ」が得られるわけであります。又第二期の内に各教生は必ず五項目の全部に涉つて實習するやうにしてゐます。これは幼児の保育は、少くとも五項目の全部に涉らねば保育の實習ならぬのみでなく次の総合的實習の基礎的實習ともなるからであります。

四、教生實習指導の要點

本園に於ける教生の保育實習には次の諸點に不斷の注意を拂つて居ります。

(1) 保姆及び同僚の保育の參觀に對しても、自分としての保育立案を立案させ、自らの計畫に比較對照して參觀させること。

(2) 實習又は參觀せる保育に對しては、毎日反省會を開き保姆の指導のもとに反省考究させ、一日一時の保育參觀と雖も無駄にならぬやうに努めさせること。

(3) 幼稚園の指導内容は、國民學校の教育内容と如何に連繋するか、則ち幼稚園に於ける保育事項が國民學校に於て如何に發展顯現するかを見通し、幼稚園として、則ち入學前の教育として當然通らねばならぬ過程を求め、これを通つた保育計畫を立てるやうに立案させること。

(4) 形式的末梢的技能の習熟に重きを置かず、感覺訓練、躰等の基礎的方面の修練に力を注ぐに努めること。

(5) 家庭教育では練成し得ない方面の知性、徳性の修練に注意を拂ひ、これを幼児期の心身發達の程度に合せて指導開發することに努めること

是等の諸點は實習に對する教生としての不斷の注意であります。が亦、保母自身、更に言へば、本園に於ける保育上の規範と言つても差支ないと思つるものであります。

千葉師範學校女子部附屬幼稚園 田邊 周子

新制師範學校に於て教育科の中に幼稚園教育と云ふ要目があり且教育實習に於て保育實習がはつきりと規定されて居る事は從來に比し誠に注目すべき事である。然してこれが實際運營の徹底は我々師範學校に職を奉ずる保母として當然の重責である。實に師範附屬幼稚園としてはたゞに幼児保育の方法の研究のみならず教生指導と云ふ大きな使命がふりかけられてゐる譯である。

當園では從來から師範學校の教生保育實習は實施して居たが、日數が一日乃至二日位の爲指導の仕様も無く名のみの實習に終つて了つてゐた實狀であつたが昨年度は新制師範の實施前程として一組四十名の教生を四班に分けて各班一週間づゝの保育實習を試した。そして更に本年度は第一期教生四十名を三班に分けて各班共二週間づゝの保育實習を既に終了したが、保母としては一期に六週間の教生指導をなす事となり保育案もそれに依る特種な形態を生ずる状態なので幼児と教生との中間にたつて種々な疑問懼みに直面してゐるわけで、兎も角も本日迄の我々の覺束ない歩みのありのまゝを御報告申上げて御指導を仰ぐ事にする。

一、教生配當

一、本年度の教生配當

- 1、第一期教生 五月十日より六週間實習(既に終了)
- 2、第二期教生 第二學期實習の豫定
- 3、第三期教生 第三學期實習の豫定

二、第一期教生の配當

- 第一期教生四十名は左の様に分れて實習する
- 1、第一班十四名 第一週第二週實習
 - 2、第二班十三名 第三週第四週實習
 - 3、第三班十三名 第五週第六週實習
- 三、第一班教生の各組への配當
- 1、年少組 五名 國民學校高學年實習の教生
 - 2、年長組 五名 國民學校中學年實習の教生
一年保育
 - 3、年長組 四名 國民學校低學年實習の教生
二年保育

第二班三班は前項に準じて行ふ。

二、指導目標

幼児保育の全部面を僅々二週間に於て理解會得せしめ様とする

事が無理な注文である事は言を俟たないが、折角恵まれた此の機会に何かを得させてやり度いと云ふ念願から左の様な指導目標をたてゝみた。

1、將來母としての保育の心得となるべき事

2、縣下季節節托兒所に於て幾分なりとも幼児の心理生活を理解して實際指導をなし得る事

3、幼児の遊びの生活への關心(教育的研究)

三、指導要項

前項の様な最少限度の指導目標より生れた指導要項は左の通りである。

(一)別紙形式による保育實習録の記入

これは毎日記入、翌朝提出させて指導部面を保姆が記入して午後後迄に返す。出來得れば話し合ひの形式で發展的に指導研究したい念願も教生五時半歸舎嚴守の制度の爲時間ゆるさず大體之に依る事が多い。此の實習録によつて指導出來ると思はれる部面は左の様のものである。

1、遊びの生活の理解

2、生活指導又は誘導

3、糞

4、多數の幼児に注意を向ける修練

5、一幼児の生活への深き注意

四項並に五項は短期間の實習中には無理かとも考へられたが從來の教生實習をみるに急に幼い人の集りの中に入つて自由な明るさに接する故にかたごのんびりとして可愛いまゝに幼

兒を膝に抱き上げて一日を暮して了ふ様な者が多數あつた。それに反してどこに何をつかまうかとあせりつゝたゞ馬鹿々々しくみえるらしい幼児の遊びの世界に果然として一人の幼児にすら接する事の出來得ないものがあつた、さうした事から稍く無理を承知で特に此の點に注意せしめてゐる。

(二) 週豫定案の研究作製

實習期間二週中第一週は保姆に依る豫定案を指示説明し第二週は各組教生共同研究にて豫定案を作製更に保姆と話し合ひの上決定實施する。

(三) 副食物調査

營養の平衡(家政科と連絡)偏食の矯正等、家庭に於ける母の立場としても特に必要を認め實施させてゐる。

(四) 各保育項目の課程的取扱ひの實習

短期間の事として誘導保育の實際取扱ひは今の所困難なので説明と見學に止め教生は専ら課程的取扱ひの實習をなさしめる。これは大體第一週は見學で第二週目に行ふが此の實習に當つては代表者のみが指導にあたると云ふのではなく各教生共必ず何等かの實際指導部面にあたる様計畫させる。

五、二週間の教生期間中各班共一研究物を提出させる。

本年第一期教生は紙芝居畫面並に脚本を研究最後の土曜日に實演發表會を行つた。

聖戰三ヶ年。此の後何年續くかわからないこの大東亞戰爭を勝

ちぬくために、皇國民の錬成が強く叫ばれ、遂に本年四月これの必然的要求として、新制師範學校の制度が設けられました事は、教育者の一員として誠に喜ぶべき事であり、また感謝にたえないことでもあります。文部省の指示せる新制師範學校規定の教育實習指導要旨には、「女子に在りては保育實習を加ふべし」と明らかに

記されてあるのであります。そうして保育實習の指導事項及指導上の注意事項が詳しく述べられて居ます。尙男子にありても適宜幼児保育の實際を實習又は見學せしむべし」とあります。そして、皇國民錬成に於ける幼児保育の責務が單に女教師のみならず男教師にも重要な課題である、これを明にして居ります。私共の學校では、女子師範學校時代より、附屬幼稚園として教育實習生の指導にあつてまゐつたのでありますが、時局が愈々切迫してまゐり、又斯様に制度の改革を見ました今日に於きましては、ます／＼私共の責任の重大さを痛々と感ずるのであります。

幼兒たちは、明日の皇國の發展を擔ふものであります。そして私共をぐんぐんと通り越して大東亞の建設へと恰も伸び行くこの皇國の姿を表象するかの様に、力強くもたくましく成長してくれなくてはなりません。然し現下の様な情勢に於ては、両親が子供達の様に專念する事は許されぬ現實であります。が、出来ないこと云ふ理由で幼少の時の様を放置することは由々しきことであり

ます。

こゝに時局の急迫と共に、より一層保育所或は幼稚園の設置が強く要請されて來るのであります。殊に農漁村の多い岩手縣に於きましては、農漁繁期に於ける保育所の開設は缺くべからざるものであります。そうしてその任にあたる者は、現在のところ國民學校教員を以て外にはないのであります。

本校生徒は凡て躍動する幼きいのちを皇國の道に則つてすくすくと伸ばしてやる重責を荷ひつゝ卒業して行かねばならないのであります。私達保母はこの重要な使命をもつて卒業して行く教育實習生をおあづかりして、主事先生を中心一致協力、互に魂の底よりぶつゝかり合つて、日々教へつゝ學び、學びつゝ教へられて行くのであります。かくて國民學校教員として奉職した際には、國民學校の兒童の前身に少しでもふれて來たことによつて、その指導過程、躰等に於て、力強く感じられる事も多々あることを信ずるのであります。次に私共の行つて居ります指導の實際について記してみようと思ひます。多少なりとも、皆様の御研究の参考になり得ますなれば幸甚であります。

一、實習指導の方針

保育實踐を通して國民保育の眞義と其の方法とを體得せしめ、皇國民錬成に於ける幼児保育の特質とその重要性を自覺せしめ、教育者たる資質の錬成をなす。

二、實習期間

教育實習生は、附屬國民學校に於ける左の實習期間中第二期に於て六日間づゝ輪番に保育實習をなし、更に第三期に於て地方實習に於て農村保育所に十日間宿泊して一般農村國民學校の實習と共に幼児保育、共同炊事等實地指導をなす。

第一期 教育見習 約一週間

◎第二期 基本實習 約八週間

◎第三期 地方實習 約二週間

第四期 綜合實習 約一週間

三、實習方法

六日間の實習を大體に於て左之通り實習す。

第一日 參觀

第二日 手傳ひ

第三日 保母の案による實習

第四、五、六日

各自の工夫立案せる保育案によつて實習す。特に最終日の六日は各自保育實習の總仕上の日とする。

尙全教育實習生實習を終りたる後、實習生中より年長組擔任者一名、年少組擔任者一名を選抜し、全日實習をなさしめ、後研究會を開く、

四、講話

1、主事講話

イ、保育の心構、態度

ロ、保育方針及其施設經營の概要

ハ、縣下保育の概況

2、保育主任講話

イ、年少、年長組の經營案の實際

ロ、幼稚園實習中の諸注意(臆寫して配布)

ハ、保育案作製について

ニ、園児取扱ひの要領

尙保育主任保母は實習中、各自の實習振りにつきよく觀察し、

氣のつき次第注意を興ふ

3、受持保母のお話

放課後實習の結果につき指導及び注意をなす。

五、遊戯指導

實習期間中、毎日幼児退出後、農村保育所に於ける唱歌遊戯の

實習指導を行ふ。

六、事務指導

1、幼児研究記録日誌

その日誌を日々提出せしめ、主事及受持保母より適切なる個別指導をなす。

實例

「今日一日を省て、非常に得る處の多かつた事を嬉しく且有難く思ふ。幼い日本人……を相手に教育することの難しき、誠に苦しくはあるが、又楽しい一面を見出す。先生の仰言る苦しみの中の樂しみを泌々と感じさせられた様な氣持で胸が一杯である。先生が今日一日の實習は薄暗いと表現されたが、考へて見ると、本當にぼんやりとした活氣のない一日であつたことを、ピチ／＼とし

た若鈍の様な元氣で伸びて行く子供たちにすまなく思ふ。手技の時間の場合の準備の不充分さ、話合の少さ等今思ふと、あまりにも見え過ぎる失敗であつた。今日の御批評反省を忘れぬ様に次に來るべき事項に備へねばならない。

昨日よりは今日と、日々たゆまぬ精進を續けよりよき教育者としての理想に近づいて行かねばならない。良く遊び良く交る。遊びの中に教へ馴て行くむづかしさ、しかしそれに負けてはいけない。机上の空論よりも一つの實行、小さい日本人を作る保育の重大さを尊々と感ずる、しかしそこにはやはり確固たる教育者の信念がなければならぬ。

明治天皇 御製に

うちつれて園生にあそぶうなる子は

學ぶとなしに物學ふらむ (遊の中の教育)

朝夕に守り育つる教へ子は

生みの子のごとなしかるらむ (教育者の永久に續く愛情)

大御心のほどを拜して、愈々教育者の倅せを思ひ、共にこれからの努力精進を誓ふ

2、保育案、生活観

實習の初日に六日間の實習豫定及實際例を示して、保育案の立て方の實際指導をなし、實習の前日受持保母に提出、指導を受くるものとす。

3、交通指導

具體案は、交通指導係に於て作製の上、指導に當らしむ。

4、身體検査票及統計表の記載方法

5、實習記録(實習後保育案の清書、反省批評等を記入の上、受持保母まで提出せしめ、之による指導)

6、週行事 月行事豫定表の立て方記載法

7、諸會費の取扱ひ方

8、味噌汁給食(偏食矯正)の調理及び熱量計算及記入法

七、實習生一日の實習事項

1、午前七時三十分迄に登園

園舎内外の清掃、花瓶、金魚鉢の水換をなし、砂場の温度を調べ、爽やかな朝の空氣の中に、より清らかな環境の中に子供たちを迎へる。尙給食係の保母の指示を受け、給食の用意をなす。

2、午前十一時三十分食事のお仕度を始める。

保育室を清潔にし、手洗ひ含嗽の水を用意し、ついで味噌汁給食の用意をして、受持保母の指示を待つ(食事中は、幼児の食事中の行儀について個別指導をなす。食後は、お盆お鍋等の後始末をなす。

3、午後二時おかへりの際は忘れものがない様に見てやる。

4、子供等のおかへりの後は遊具のしまひ残しがないか、もう一度よく調べ、室内の整頓裝飾に氣を配り、園舎内外の清掃をなす。その後受持保母より遊戯其の他の指導を受くるものとす。

5、實習生の登園、おかへりの際は必ず保母室に挨拶をなす。

朝は出勤簿に捺印し、おかへりには名札をかへしおくこと。

缺勤早退の届出は、國民學校の様式と同様、その他氣のつき次第、積極的に實習をなすこと、尙午前九時の會集より、午前十一時半までの間と、午後零時三十分より午後一時半までの間は保育項目による實習をなさしむ。

以上教育實習生指導の概略を申し述べた次第であります。

女學生の勤勞奉公隊所見

東京都日比谷公園兒童掛 末 田 ま す

大東亞戰爭完遂の時局下、銃後生産戰の一助として女學生の勉學の餘暇を利用して軍需工場に或は又農山漁村の繁忙期に率先して奉仕勞務に参加してゐる現状は寔に結構であり女學生に於ても奉仕勞務にたずさわつてゐる中に教室では學び得られない貴重なる收獲があるものも信する次第である。

女學生の勤勞奉仕を通觀するに各種の職場があるが、女學生としての將來の職能を熟慮して、適當なる部門に奉仕せしめる事が肝要であると思ふ。

此の意味に於て農山漁村に於ける幼兒の保育、共同炊事等は女學生の奉仕部門として寔に適材適所である。つい最近新聞紙上で見た事ではあるがその職場が、その方法が不適當なるが故に幾多の事故があり、惡結果を齎らしてゐるのである。これは要するに奉仕者とその勞務が適材適所でないからである。

時局下人手の不足から農繁期は食料の増産に猫の手も借りたい云ふ程の多忙振りである。私が嘗つて農村へ出向

いて目撃した事があるが母親達は乳幼兒を田疇の畔へ監督者なしで遊ばして置く爲不測な事故を惹起したり或は又取りかへしのつかぬ事をする事がある。これでは親達は子供達の心配で結局仕事の能率も上がらない事になる。

私は現在の農村に於ける乳幼兒の托兒所を常設的にもつて擴充し、有爲なる指導者を送つて、農村の親達に積極的に利用せしめる様にしたいと思はるものである。農村の廣場或は神社の境門を利用して設備した托兒所が完備すれば働く親達も安心して仕事に熱中する事が出来ると思ふ。

東京都では毎年夏期市内の各公園で都下女學校生徒の奉仕により綠蔭鍊成會を催し集る子供達の暑中生活の善導に努力してゐるのであるが、毎年好成绩を收めて終了して居り、本催が終了するに女學生の尊い經驗を東京中央放送局から全國に放送する爲、各都市より公園を利用しての兒童の厚生運動につき種々問合せがある状態である。

これは將來母となるべき女學生にして實に適切なる部面であり、子供達にしても仕合せな事であると思じてゐる。

勿論奉仕者には前以つて講習を行ひ、奉仕に要する理論、技術、勞務について豫備知識を持たせなければならぬ。この講習の如何によりて、奉仕が愉快にそして立派に完了するのである。

長い間の経験で女學生には學齡兒童よりも乳幼兒の取扱ひの方が容易に思はれる。それは云ふまでもなく熟意と體格さへよければ、子供達は指導者の言ひ附けをよく守り、おだてがきく事であり、比較的手輕に世話する事が出来るのである。

子供は國家の寶である云はれる。この寶を立派に磨き上げて國家の爲に獻身出来る人物を養成する所以を知り、奉仕に努力する女學生の責任たるや寔に重大であり、やり甲斐のある仕事であるを信じてゐる。終りに參考までに東京都の公園に於て奉仕せる女學生に與へた遊戯の種類を紹介して筆を擱く次第である。

幼兒向き 全體の子供達でたのしめる遊戯に分けて見る。

幼兒にも感覺訓練が特に必要と見做される。

1、名あて遊び 鬼が圓の中央で目をつぶる、その間に圓の人は右むき(或は左むき)になり歩く、鬼が「止まれ」といつて目かくしのまゝ誰かを指して「猫の啼き聲」と云ふ。指された人は鬼の命令通りにする。その間に鬼は誰の聲が當てる。若し當たれば次の鬼はこの當てられた人である。鬼は何の啼き聲

をさせてもよい。これに似た遊戯で「坊さんくゞこへゆく」といふ遊戯がある。

2、拇指かくし 圓形を作り皆中心に向く。鬼は圓の中央で目をつぶる。その間に誰か指された人は右拇指を折りかくす。鬼が目を開いて探す間に圓形の人は皆拍手をする。鬼はその音で誰が拇指をかくしてゐるかを當てる。

3、馬の尻尾(雨降りの日に用ゐる) 数枚の新聞紙に各々尾の無い馬を置いておく。別に幼兒數だけ尻尾を用意し各人に與へて置く。二米位離れた處に、この新聞紙を置いて置く。合の新聞紙の數だけの幼兒を一行に並べ目をかくしておく。圖でその馬の尻尾に當る處に、その紙切れを貼りに行かせる。これをみんなの幼兒にさせ、誰が上手に尻尾がつけられたか見させるとおもしろい。

全體の子供で出来る遊戯を戸外向きと、雨ふりの場合を考へて室内向きとに分ける。

一、戸外の遊戯

1、橋落し 全體の人で圓を作り一部に二人が手を繋ぎ橋を作る圓の人は右(或は左)をむいて歌を歌ひつゝこの橋をくぐり通る合圖と共にこの橋を落し橋の中に落された人は中央に出て落された人同志二人づゝになり圓の何處かに橋を作る。

必ず圓の人は橋の下をくぐる。前の人につかまつて歩かぬこと。だん／＼橋を増して少數が残る迄續けること。

2、いらつしやい 圓を作り各自小さな圓を書いて席を定める。各自席に入ると鬼を一人決める。鬼の人は圓の内側を走

り乍ら圓の人を「いらつしやい」と言ひながら肩を叩いて行き叩かれた人は鬼の後に續いて走つてゆく。鬼は十人位、自分の後に續いて來たら適當な時機を見て「さよなら」と言ふ。「さよなら」といはれたら空席を見つけて入ること。最後に席のない人が鬼となる。

3、鶴龜 二〇米位距離を置いて二本の線を引く一方を鶴の線他方を龜の線とする。子供全體を一方の線の上に並ばせる先生は中央に立ち鶴、龜、と呼ぶ。鶴と呼ばれた場合に子供達は鶴の線に行く。龜と呼ばれた時は龜の線に、但し龜の線にたる時、龜と呼ばれたら線より出てはいけない。線より出た人は遊びよりぬけ、五六人位残るまで續ける。注意 間違た子供等は別の線上に置いて先生と共に「ツル、カメ」を呼ぶことを相談する。

二、室内の遊戯

1、番犬遊び 圓を作り蹲む。一人番犬になり圓の中央の小さい圓に入り目をつむつて蹲む。番犬の傍に寶物(下駄等を用ひるとよい)を置く。圓の一人が番犬に氣付かれぬ様に寶物を取つてかへる。番犬は誰か取つて行きさうに思つたら大きな聲で「ワン！」とほえる。若し番犬に吠られずに寶物を持つてかへられたら、それを自分の後にかくす。番犬は目を開けて探し出すこと。

2、親探し 圓形を作り中央をむく。鬼一人圓の中で目隠す。圓の人から親を一人きめる。親は色々の動作をする。圓の人は親の動作をその通り真似る。鬼は圓の中央に立ち親が何處

にゐるか親を探し當る。探しあてられたら親になつてゐた人が次の鬼となる。

3、野菜籠 鬼を一人決め其他は圓陣になり隣の人とびつたりついて坐る。先生は數種の野菜の名前を皆に割當てつけておく。一人中央に立ち二つの野菜の名を續けて呼ぶ。呼ばれた野菜に當る人は素早く立つて席を交替する。鬼はその間、席の空いた所に入らうとするから早く交代せねばならぬ。鬼に席を取られたものが次の鬼となる。

その他に寶まわし、ジャンケン遊び、郷土的遊戯を使はれるとよい。

(三九頁より續く)

(六)運動をするときは運動服に更衣するのを原則としてゐるが、幼児の場合仲々實施困難だと思ふので、少くとも、輕装にさせることはつこめ度い。元來日本の母親は子供に厚着をさせすぎてゐる。親心云々へばそうに違ひないが、鍊成期にある子供にはなるべく薄着にして皮膚の鍛鍊を行ひ度いと思ふ。

以上私は幼児の身體的鍊成の必要意義を述べ更に、鍊成方法、實施上の注意事項を誠に簡單ながら述べた積りである。まだ言葉のつくさぬ點も多々あつて、氣にもかゝるが、之を通して、世の母親や幼児の指導の任にある諸姉が、幼児の心身鍊成について、少しでも、關心をもち、そのために努力していただけるならば幸甚に思ふ。

幼兒の鍊成

厚生省國民體育館 大崎サチエ

子供はお國の寶である。鐵が鐵として眞價を表はすためには、幾度も火をくゞつて鍛へ上げられねばならぬ。同時に、國の寶としての子供は、精神的身體的鍊成を行つてはじめて良き皇國民として成長するものである。而もその鍊成は日本的鍊成でなくてはならない。殊に幼兒時代は心身の鍊成を開始するに最も適した時期であり、且重要な時期でもある。

如何なる方法で幼兒の心身鍊成を實施すべきかについて考察してみたい。もしく、精神と身體とは切離して考ふべきものではないが此處では特に身體的鍊成としての幼兒の體育の問題を取上げてみることにする。體育を通して幼兒の身體を鍊成するに際し吾人は先づ幼兒の身體生理について知らねばならない。

小兒の骨格 小兒の骨格は彈性に富む。従つて、石灰分の多い大人の骨の様に折れ易くない。骨膜も成人のに較べて強いので骨折に際して切れてしまふ様なことは稀であり。骨は筋肉と同様に、使用しないで安靜しておくに萎

縮するものであつて、使用しない結果、發育障礙を起す。併し又、常に重みを加へてゐるに今度は細胞障得によつて骨の發育は抑制される。それで、骨の發育を刺戟促進するために、骨に重みを加へたり去つたりする身體運動が必要なるわけである。

小兒の筋肉 筋は多數の筋纖維の集合であつて、筋の肥厚するのは筋纖維が太くなるためである。筋纖維の増加は僅かであつて、新生兒と成人とを比すれば、成人に於て僅かに一〇プロセントの増加と云はれてゐる。小兒に於ては伸筋に比し屈筋が特に勝れてゐるため、體操に際しても屈筋より伸筋の練習を多く課する様、心掛ける必要がある。又小兒の關節の運動範圍が廣いのは、筋の緊張力が成人に比し低いからである。小兒の運動器官は非常に柔軟性に富んでゐるが、之は小兒の筋の緊張力の弱いこと、伸び易いこと、拮抗筋が少いことなどに原因してゐるのである。筋は鍛鍊されることによつて、筋纖維の大きさを増すものであり、鍛鍊により心臟が肥大強力となり筋の毛細血管網は精

緻になり、従つてそれにより筋は良く榮養されて、疲勞物質は容易に運搬し去られる。又筋の鍛錬により、筋附著の腱や筋膜、關節の韌帶も鞏固になり、更に筋の附著してゐる骨も堅固になるのである。以上の如く、生理學的根據に於ても、幼児の心身發育上、身體的鍊成は必要缺くべからざるものであり、特に幼児期、兒童期に於て、之を施行する最適の時期であることがうなづけることと思ふ。

然らば身體的鍊成は何を以つて行ふかと問題となるが、私は體育運動を通してのみ、所期の目的を達し得るものと思ふ。従來幼児の教育に於て、消極的な保健衛生の問題は可成眞剣に考慮せられてゐたが、積極的な體鍊の方面はあまり重要視されてゐなかつた憾みがある。むしろ體鍊は國民學校に入學してはじめて行ふべきものゝ様に一般に考へられてゐたのではあるまいか。併し乍ら支那事變及大東亞戰爭が相次いで勃發するに及び、幼児の體鍊の問題もはじめて眞剣に考慮される氣運になつて來た。

幼児體鍊の實施方法について次に述べる。幼児の體鍊は常にその身體構造、生理機能を念頭に於て、實行されねばならない。

(一)歩行訓練 幼児は滿一年一、二ヶ月頃になるミヨチヨチ歩きは始める。滿三歳にもなるミその歩行に可成確實性が出來て來るが、まだ體重ミの均衡が十分保たれてゐな

いので、一寸したものにでも躓いて轉び易い。又歩行に際し少し距離がのびすぎるミすぐ疲勞する。併し乍ら、歩行運動は最もよい全身運動であつて、老若男女を問はず凡てに適するものである。誠に幼児期は歩行訓練の最適の時期云へよう。常に正しい姿勢を保たしめ、一定の速度で、正しい歩行訓練を行ふ。此場合音楽(行進曲)を用ふれば精神的爽快さを加へ一層効果的である。滿三、四歳兒ミ五、六歳兒ミの間には歩幅の關係から歩行の速度に、多少の開きがある。一つの集團ミして行進させる場合には、此のこゝを考慮しなければ年少組の子供に無理を來す場合がある。總じて、身體的發育狀況及精神發達の程度から考察して、滿三、四歳兒ミ五、六歳兒ミの間に一段階が認められるので凡ての體育運動を課する場合も、區別をつけて鍊成すべきこゝに注意を喚起しておき度い。歩行訓練に次いで駈足を行はせる。三四歳兒には集團的の駈足は十分出來ないが五、六歳兒は喜んでやる。駈足が動もするミ幼児には疾走になりがちである。駈足の距離も最初は百米位より漸進的に指導すべきである。駈足の距離も最初は百米位より漸進的に延長してゆかねばならない。一度に全精力を出しきる疾走は幼児が非常に好むものであるが、幼児期に於ける最大距離は二十五米から三十米が最適で、競走で之以上を走りさらせるこゝは、身體に無理が來る恐れがある。かうした

歩行、駢足、疾走等の訓練は、毎日々々適度に實行させることによつて、はじめて効果があらはれて来るものであつて、今日やつて、二三日休むのでは、鍊成の實を擧げうるものではない。

(二)體操、徒手體操により、身體各部の筋肉、關節を鍛練する。身體の末梢部分から漸次體の中心に向つて動かし、各部分の筋肉、關節を全體的に鍛鍊してゆく、最初四肢の運動から始め頸、胸、脊、體側、腹の運動、整理運動、深呼吸といふ具合に。幼兒の場合殊に三四歳兒に於てはその動きは實にぎこちない恰好であつて、こちらの要求する通りに自己の身體を自由に操作出来ないが、年齢がすすむにつれ練習の効果も手傳つて、段々巧くなつて来る。出来ないから體操をやらせないで、おくより出来なくともやらせてゐる中に、運動神經の發達を相俟つて、身體の操作が自由に熟練して来る。體操には、一聯の體操として既に、編まれたものも數十種あるが、その中で幼兒にも適當と思はれるものには、幼兒體操、こども體操、厚生體操、國民保健體操(第一、二、三)建國體操等がある。併し、必ずしも、之等の既存の一聯の體操によらずとも、指導者に於て、適當に案出して實施されるさいと思ふ。徒手體操には、やはり、音樂伴奏を用ひる方が効果的である。匍匐運動や、跳躍運動、スキップなど課する場合は、かへるさんさか、

うさぎさん(首脚懸)なき名つけて行はせる(面白くやらせる)こぎが出来る。子供は實にあきつばい、移り氣なものであるで、一つのものに長い間注意を集中させておくことは困難である。次々に變化をつけて、楽しく愉快に行はせる様工夫を要する。

(三)器具使用の諸運動、幼兒の喜ぶ運動器具を使用させて、身體各部の發達を不知不識の中に促進させる。普通、幼稚園等に設備してある運動遊具としては、滑り臺、ブランコ、杵登り、シーソー、丸木杵等が擧げられる。以上のものは、それ獨自の使用法があるが、その使用法に更に工夫を加へるさよい。例へば、滑り臺の場合、公園備へ付けの高いものは危険を伴ふが、室内用の低いものだき、爪先上りに逆に登らしめ頂點に達したら、上から段々のある方へ跳降りる様にする。その場合跳降りる下にはマットか砂場かにして、頭に強い震動を與へない様にしておく。頂點から跳び降りれないものは適當の段まで降りてそこから跳ぶ。登るときは山登り、降りるときは落下傘なき云つて子供は大喜びであきず遊ぶ。之は腹筋の運動となり足頭の強靱さを増すに役立ち、また跳躍運動が出来る。杵登りは懸垂運動の鐵棒に使用する等、之等は一例にすぎないが、工夫をこらせば、もつと色々な體育的使用法が遊具に案出されると思ふ。尙、繩跳、羽根つき、輪廻し、石けり、

相撲、砂場あそび、球入れ等幼児の體育的遊びをして獎勵すべきものである。戰時下、資材の點で十分の運動遊具の設備は望まれないと思ふが、その不足の點は、工夫を創意により、代用のものを以つて、所期の目的を達する様、各指導者の決意を促し度いと思ふ。

(四) 競走遊戯 競走遊戯は集團的訓練をなすに最もよい。幼児に出来るものでは、繼走、置換競走、隧道競走、球送り、親子競争、二人三脚(六、七歳児)ジャンケン叩き、綱引等がある。競争遊戯に於ては、子供の個性が最もよくあらはれる。此時を利用して子供の個性を調査し、よく指導しなければならぬ。團體的訓練も此時行ふ。競技の規則を守るこゝ、正々堂々戦ふこゝ、狡るい考へを起させないこゝ、秩序を亂さぬこゝ等を指導者は子供の行動に十分の注意を拂ひつゝ發見したらその場その場で戒め、訓育する。百の説教より、現場々々での訓育がはるかに、効果的である。競争遊戯では子供も仲々勝つこゝにさらはれ、いきり立つものであるが指導者はこゝまでも冷静に、勝敗を審判し、負けた場合はその理由を説明し、勝つた場合は、態度の立派だつたこゝなごを賞め次の心構に注意を與へるこゝを忘れてはならない。且、こゝまでも、集團としての有機的關係の重要さを、實物體験で悟らせる様に仕向ける。或保姆の會合で「競争遊戯は闘争心をあふり立てるので、私

の方ではやらせません」と申された方があつたが、見方によつては、それも一理あると思ふ。併し、先天的に人間に存してゐる此闘争心は一面必要なものであり、之を壓するよりも、正しい方向へ發現させる様に、むしろ積極的に導いてやるべきであらう。それ故競争遊戯はその闘争心を善導する手段として實施すべきものでもある。心身の鍊磨はいかなる場合も一體になつて行はねばならない。

次に體育運動を實施するに際しての注意事項を簡單に述べておく。

(一) 運動は幼児の健康状態をみて課すること、心臟に故障あるもの、脱腸、トラホーム、結核性疾病(肺門淋巴腺腫脹なき)の子供は、運動に不適當である。

(二) 運動は過度にならぬ様氣をつけるこゝ。子供は面白ければ夢中にやるので、やりすぎるこゝがある。特に幼児に於ては疲労の問題は常に念頭に於て實施しなければならぬ。

(三) 運動後の汗は十分に拭き取らせる習慣をつけるこゝ。それと兼て乾布摩擦を施行させるこゝが望ましい。

(四) 運動の種類は偏せぬ様、種々取交せて、身體の各部分が圓満に鍛鍊される様につこめるこゝ。

(五) 鍛鍊の仕方及び運動の種目等は、年齢段階に應じて選ぶこゝ。

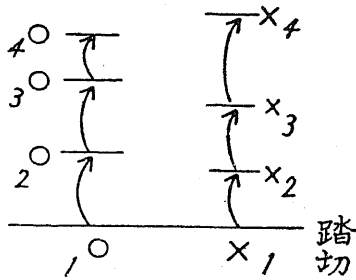
幅とび遊び

附屬幼稚園 福田 静子

初秋の頃。かけっこ、縄まじり、鬼ごっこ、玉投げ等いろいろな面白い遊びが展開される。大空に向つて活潑に運動しよう。

次に變つた幅まじり、二つ三つを考へてみた。
其の一

1、圖の様に出發線の前に紅白二列に分れて並ぶ。
2、「始め」の合圖に依り、先頭の者は出發線の手前に兩



踏切

脚を揃へ、前方目がけて、大きく兩脚跳を行

ふ。

3、次の者は、前者が跳んだ線の前に兩脚を揃へ、同様にして前方へ

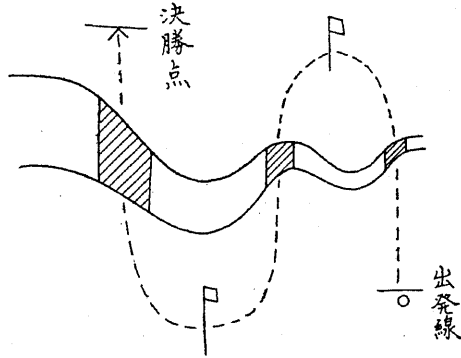
跳ぶ。

4、次の者は、この様にして、更に前者のさんだ線より兩足跳を行つ

て、各組共、先へくミ跳んでゆく。

5、こうして、各組共距離を増し、最後の者が跳び終つ

た時、出發線よりの距離を計つて、距離の長い組を勝ちとする。



出發線

「注意」幅まじりの計り方は、

出發線より着地の踵までを計り、兩足不揃の場合、後方の足の踵までの距離を計る。

其の二

圖の様な川を地上に描き、廣い流れや狭

い流れを跳び越す遊びである。出發線より駆け出して、最も狭いところを一跳びして向ふ岸へ渡り、先の障碍物を一廻りして、次に廣い流れを跳越し、更に前方にある障碍物を廻つて、最後に大河を

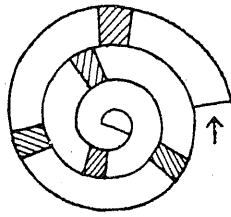
跳越して、決勝點へ向ふ。

一人づつゝみんだり、或は二人づつの競争にする。川に落ちた者は、その場からやり直す。

川幅は最短五〇糎、最長一米四〇糎位にする。

其の三

うづ巻を描き、所々に切目の模様をつける。入口より、



片脚跳びで中心へ進んでゆき、切目の前まで来た時、両脚を下して揃へ、その部分を跳越す。

そして又片脚跳で先へ進む。

うづ巻の中心まで行つた者は、再び片脚跳で引き返し、

切目の部分は兩脚で跳越して出口へ戻つてくる。

切目は、幅に大小をつけておく。

其の四

兩足が入る位の圓を、間隔を置いて地上に縦列に描く。

圓ミ圓ミの間隔は最短三十糎位とし、次第に離して一米



以上にする。

そしてこの圓を、圓から圓へ兩足を揃へて跳んだり、片

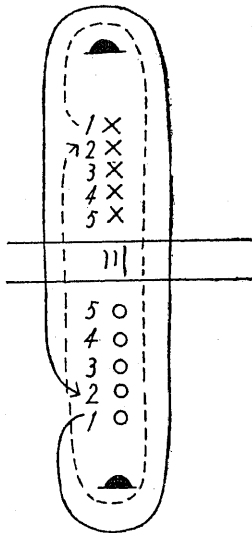
足で跳んだりする。兩足で跳ぶ時には最後まで兩足で、片足で跳ぶ時には最後まで片足で跳ぶこゝにする。

圓外に落ちた時はやり直し。

圓は間隔をもつゝあけながら、跳べるこゝろまで、増すこゝが出来る。

其の五

幅一米位の川を描く。



紅組、白組に分れ、川を真中にして兩組向ひ合つて並ぶ。

紅組も白組も列の後に積木か砂でお山を作る。

「用意ドン」で一番後の人から、ばみんを持つて走り、川を

跳び山を廻つて一廻りしたら、次の人にはばみんを渡す。

走り方は圖の通りにする。

早く皆が走り終つた組が勝ち。

川をミびそこなつたら、ミびなほしをする。

今夏の本會主催戰時保育講習會

南に北に、敵の執拗な反攻は日毎に熾烈を加へ、敵の我本土空襲は最早や免れぬ事實にて、我神州防衛の爲、舉國一致、一分の隙をも與へないやうな國內態勢の眞只中にあつて、今年も亦例年の通りの夏季講習會が開催せられ得るといふ事は、何と幸福なことであらう。併し今年は交通の上でも、

大切な物を運ぶ爲に、大いに自肅が要望せられて居り、又一方に於ては多人数の集會は極力避けるやう指示されても居り最近に至つてはその法令さへも出てゐる程でもあるので、本會も亦當局のその趣旨を體して來會會員の地域を東日本と限定した。そして例年よりも小規模に小規模に準備を進めて居たのであつた。

ところがいよ／＼開會に當つて見ると、來會者實数は七百八十名にて昨年と殆んど同じ位。豫想外の盛會に一同驚きもし、又、時局下、保育者の要望が奈邊にあるかと察せられて、主催者側として一入身の引きしまる思ひがしたのであつた。

講習項目は次の通りで、今年も亦戰時保育に徹したのであつた。

日時 八月一日より四日まで（自午前八時至午後四時）

會場 東京女子高等師範學校
講師及科目

一、戰時下保育の本義と實際並に幼児保育者指導の要諦
倉橋 惣 三君

二、戰時下幼児の保健問題
東京女子高等師範學校講師
恩賜財團愛育會保健部長醫學博士
齋 藤 文 雄君

三、戰時下に適應せる幼児手技（實習）
東京女子高等師範學校保姆兼教諭
及 川 ふ み君

四、戰時下に適應せる幼児遊戯（實習）
東京女子高等師範學校内
幼児遊戯研究會

たゞ、今年も、例年の戸倉ハル講師が、文

部省主催の國民學校新體操科教授要項傳達講習のため北海道に向向かれ、本會の方へお出になつて頂けなかつたことは誠に残念千萬なことであつた。併し、戸倉先生を中心としてこの一年間に研究せられた幼児遊戯の數々は、その若い部員の方々によつて滞りなく、充分に發表せられたのであつた。それに今年はその狭い體育館ではあの大勢の會員の方々に充分に踊つて體得して頂けないことを虞れ、新しい試みとして、全會員を二分し、國民學校の體育館をも借用して、講師、會員共々二つに別れ、それが日毎に交替して充分に實習して頂いたのであつた。

尙ほ今年も、開會直後、全會員の空襲警報に對しての待避訓練が實習せられた。全會員の、誠に清肅な、しかも敏捷な一絲亂れぬ待避ぶりに一同驚き、そして眞に敬服したのであつた。

終りに、今年も亦、時局柄とはいへ、遠來の皆様が對し、宿泊に於て又晝食、茶菓などに於て何等の御接待もなし得なかつたことを心からお詫が申上げる次第である。

（講習會係り）

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十八年

九月

この大きな時代の日本の母

戦局はいよいよはげしくなつて來ます。南の島々に日夜に響く爆音砲聲は、こうしてゐても耳に響いて來ます。北の警戒の緊張もひし／＼と身近かに迫つて來ます。廣い大陸に擴がる討撃の足音は、そのまゝ海を渡つて地響きを傳へて來ます。更にその間に、ヨーロッパの激しい激動が、すぐにも頭の上の大雨ともなりかねない遠くの大雷鳴のやうに、胸を驚かさずにあません、世界の歴史の中で、こんな激げしい戦争があつたでせうか。わが日本にこんな大きな時代があつたでせうか。世界の戦亂の中にあるといへば、わが國は此上どんなに強き攻撃を受けるかも知れません。自ら世界を動かしてゐるといへば、之れかた尙、どんな大きな役目にわが國が進んでゆかねければならぬか分りません。何にしても、お互は、日本人として、今までに類例のない一番大きな力の必要な時に生れてゐるのです。男でも女でも、だれ一人として、戦前の、あたりまへの力の出し方、力の入れ方であつてもはありませぬ。

みなさんは、その中で、母として、一ぱいの力を要求せられて居り、又、現にそれを出しゐられるのです。實に、この大きな時代の日本の母として、力一ぱいに生きてゐられるのです。いつもの、たゞの母ではありませぬ。

幼稚園から

○この夏を、お子さん達は、銘々の家庭で、どんなによく鍛へられたこととせう。それもらく／＼海へゆき、らく／＼山へゆく時ではありませぬでした。お母さんの特別の御工夫と御苦心とで、戦時生活の中で家庭練成をせられたのです。

○そのお子さんを再び迎へて、幼稚園もうんと、しつかりしなくては相濟みませぬ。折角く、いゝ健康な夏の子であつたお子さん達を、弱い秋の子にしつかりしてはなりません。うんとしつかりやりますぞ。

○幼稚園は家庭教育を補ふところだと言はれてゐます。しかも、その補ふといふのは、足りないところを補ふといふだけではありません。家庭がしつかりよくやつておいでになるどころを、その上をなと補つてゆくことでもあります。

○秋、いゝ秋の保育は、この積極性で幼稚園をはり切らせてゐます。

ちまんづよい子

倉 橋 惣 三

「夏中お障りありませんで」

「今年も随分お暑うございましたね。しか

し、戦地の兵隊さん方のことを思ひますれ

ば」

「ほんとですよ。どんなに御苦勞でせうね

え。それにしても、日本兵の強いにはわれ

ながら感嘆の次第ですわえ」

「全く。どうして、こんなに強いのだらう

と思ひます位で」

「實際」

「からだは敵より大きい譯でもございま

せんし。一體なぜなんでございませうねえ。

そりや、精神は申すまでもないんでござい

ますが」

「どうですわえ。精神、日本精神から出る

ことは勿論なんですが、つまりはがまんづ

よいのですわ」

「がまんづよいのでございませうね」

「強い、精神にしても身體にしても、強い

といふことに、分ければいろ／＼あります。

一氣に強いのと、ちり／＼と長つゞきする

強さと、この二つに分けられませうね」

「根氣強いといふので」

「そうぞ、あれなんか、つまりはがまんづ

よいの、一氣に速く駆け

れるのと、一氣には、そう速くないが、長

つゞきして、仕舞ほど速くなるといつたの

は、がまん強いのですわ」

「この頃、體力といふことをよく承ります

が、つまりそれでございませうか」

「體力の中にもいろ／＼の意味がありま

すが、長つゞきの出来る。つまり耐へる力

は、體力の中の最大切なことですわ」

「この夏山へ連れて参つた時、子どもは坂

母親の健康

東京 西田町幼稚園長

坂 内 ミ ツ

何人でも健康を保つ事の大切な事はいふまでもありませんが、母親は別して健康でなければなりません。自分の身體が自分一人のものであるならば、勝手な生活をして健康を害した處で、自分だけ苦しい思ひをすれば濟むのであります。母親の身體は決して自分一人のものではありません。國家の大母だからである子供を育てる大責任を負つて居るのであります。それはかりでなく國家の一分子である一家を治め、主人をして又家人をして各々職務に眞剣に働かせる原動力とならねばならぬからであります。殊に幼児を育てて居らるゝ母親は特に考へていたゞかねばなりません。幼児の心身と母親の心身とは實に未分化なもので混然一體であるといはねばなりません。即ち母親の身體の強弱、意志感情の動きは忽ち子供に影響して其及ぼす處は非常に大きいものがあります。萬一母親が健康を害したとすれば自然不愉快な表情になりますので、子供も頭かになり得ません。液刺と遊ぶ事が出来ません。母親が病氣であれば食事の上にも注意がとゞかす。榮養も不充

道を一寸のぼると、すぐ、もう歩けないと申すのです。私は、さうか、と申して可愛そうだからといふ甘さだけではありませんが、無理に疲れさせても存じて休ませようと思すと、主人が、いえ、もう少し歩け、がまんして、と申しては、いつも少しづつ歩かした後休ませました」

「それ、それがいゝのですよ、そこが肝心なところですよ。御主人の方が教育家です」

「それでございませうか。實は、私が疲れを留めて、ホ、ホ、」

「ハ、ハ、ハ、それや教育問題以外ですね。しかし、とにかく、さういふ風になさると、だん、だん力が増してゆきます」

「さようでございませう。仕舞には、もう休むかねと申しますと、もう一寸が、ま、んしてからと申しますんです。が、ま、んが、樂しみなように」

「それでなくちやいけませんね。楽しみになるのでなくは」

「體に無理は起りませうまいか」

「大丈夫ですよ。出来るがまんしかがまん出来るものぢやありませんから。つまり、いつもは、出来るがまんをがまんしないのでございませうね」

「日本の兵隊さんも、ほんどにがまん強いのでございませうね」

「さようでございませうね」

「あなたのお子さん、どうです。がまん強くやりますか、なんでも」

「それが、さうも、あんまり」

「あんまりつて、幼い子ですから、さう強くも鍛えかねますがね。少しづつでも段々がまんの癖をつけなければいけません」

「癖を」

「さうです、がまんする癖をだん、だん養つてゆくのです。今、日本で一番入用なのは困苦缺乏に耐へて激しい戦をする力と、その長い銃後の苦闘に耐へ通すことですからね。就ては、皆、自分の子をそのがまんの癖をつけて置かなければなりません。」

分となり胃腸をそこね風邪にかゝる事が多いのは當然な事でありませう。かく大切な母の健康でありますが母親の仕事は非常に多く、殊に昨今の生活様式では母親の仕事は想像以上に多くなつたので休息する暇がなく疲勞する事が多い事は注意せねばならぬ事でありませう。こうした時に當りて尙ほよく健康を保つにはどうしたらよいでせうか、私自身の體験から申せば、常に心を單純に持つ事でありませう、即ち人の言ふ事は其まゝ信用して決して疑を挿まない。又決して其かげに潛んで居る意味などを忖度しませぬ。自分の言ふ事も心にあるものを其まゝ發表するのて人によつて言葉をかへたり、時によつて言葉が合はないかなど、心配する必要なく、いつも呑氣で單純ですから、神經を不必要に使ふ事がないのが健康を保持する第一の條件だと思ひます。尙ほ一つ、大切な事は自分の骨格を知つて置く事です、男性型の人でも女性型の人でも自分の型を知つておいて、其型に合ふ運動をして居れば健康を保つて居られます。それにしても其型にさからう運動しなければならぬ事もあるので就床の前に軽い運動をして其無理に使用した部分を調節するやうにすれば、床につくやうなことはないと思ひます。

初秋に於ける幼

兒の保健衛生

愛育研究所保健部

宇留野勝正

春夏秋冬の四季の變換は人體のみならず、凡ての生物の發育生理上一定の變化を繰り返させるものなる事は衆知の通りですが、殊に外界環境のかゝる變化に敏感なる幼児では流行する病氣迄が季節に従つて一定の経過を示すものです。梅雨期の急激なる暑さの襲來、湿度の激變、それに續く酷暑は大人でさへも全く心も消耗し盡されるばかりです。漸やく九月の聲を聞き秋風でも吹き始めると、我々も人間に還つたやうな心地がします。食慾も恢復し、そして發育盛りの幼児はこれからが一年中で最も身體發育に能率を上げる時季でありま

す。即ち身體各器官は最も調子が良く是等器官の病氣も一年中で最も少いのであります。換言すればこの時季こそ幼児の身體鍛練に最も効果を擧げ得る時であるのです。この時季を利用してこそ來るべき冬期に於ける酷寒に耐へ得る丈夫な身體を造り得ると言へませう。

鍛練及び保健衛生に關して少しく述べてみます。

酷暑の過ぎたばかりの時季は身體鍛練と力言ふよりむしろ酷暑により速かに恢復せしめる事が先づ第一に必要な事となつて來ます。即ち暑さの爲に異常となつた身體諸器官機能の休養を計り更に不足勝ちとなつてゐた榮養素の補給を考へて來るべき鍛練の時季を迎へるのです。一般に季節の變り目は身體の調子に急變を來し病氣になり勝ちであるから注意を要すると言はれてゐますが、夏から秋に移る時季も同様と言へませう。春から暑さに變る場合ですと誰でもさうよく注意をしますが、暑さから急に涼しくなると「あゝ涼しくなつた」と急に安心し却つて不注意となり不攝生になり勝ちであります。油斷をしてはいけません。幼児にあつても勿論すつかり涼しくなる迄はまだ種々な傳染病(胃腸病のみならず腦炎等)が発生し得る事を忘れてはいけません。

以上の如くして酷暑による疲勞も恢復し、子供も元氣になつた頃よりそろそろ身體の鍛練を初める事とします。しかし身體鍛練と言つても大人のそれとは異なり子供では常にその身體の正常なる發育を促進助長すると言ふ意義を忘れてはなりません。決して或一つの運動に偏らせてはいけません。

即ち身體全體の公平な運動をさせるやうに注意する必要があります。この爲にはわざわざ一定の體操等を強ひる必要はなく子供は風の子、さん／＼戸外で飛び廻らせればよいのです。

次に皮膚の鍛練です。感冒になり易い子供を冬になつてから鍛練する事は出來ません。もう夏時分から、少くも秋初めから心掛ける必要があります。この爲には新鮮なる外氣浴、日光浴、乾布摩擦、冷水摩擦等によつて皮膚を丈夫にしておきます。即ち朝早く起き新鮮な空氣の中で乾布摩擦をやり次第に冷水摩擦に移らしめ、そして如何なる寒さにも順應し得るやうな皮膚にしておく事が大切であります。

睡眠は勿論必要であります。燈火親むべしとは大人のみである事を忘れてはいけません。子供は、よく食へ(偏食にならぬやう、殊に夏に不足勝だつたビタミンB等の補給)よく寝、そしてよく肥り、よく鍛練するやうに心掛けるべきです。

最後に冬期に流行する傳染病の豫防注射を忘れないやうにすべきです。即ちチフテリアは十二月、一、二、三月と流行しますが、この豫防注射は、してから一ヶ月以上経たないと効果が現はれませんから、流行期になる二、三ヶ月以前より注射をしておく必要があるのであります。